周防大島町告示第116号

令和6年第4回周防大島町議会定例会を次のとおり招集する

令和6年11月26日

周防大島町長 藤本 浄孝

1 期 日 令和6年12月3日

2 場 所 大島庁舎議場

○開会日に応招した議員

占部 智子君	浅原 賢潤君
山根 耕治君	栄本 忠嗣君
岡崎 裕一君	山中 正樹君
白鳥 法子君	田中 豊文君
新田 健介君	吉村 忍君
久保 雅己君	小田 貞利君
尾元 武君	荒川 政義君

○12月18日に応招した議員

○12月20日に応招した議員

○応招しなかった議員

令和6年 第4回(定例)周防大島町議会会議録(第1日)

令和6年12月3日(火曜日)

議事日程(第1号)

令和6年12月3日 午前9時30分開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 諸般の報告
- 日程第4 行政報告並びに提案理由の説明
- 日程第5 同意第1号 周防大島町監査委員(識見を有する者)の選任につき同意を求めることについて
- 日程第6 同意第2号 周防大島町監査委員(議会選出)の選任につき同意を求めることについて
- 日程第7 議案第1号 令和6年度周防大島町一般会計補正予算(第5号)
- 日程第8 議案第2号 令和6年度周防大島町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
- 日程第9 議案第3号 令和6年度周防大島町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
- 日程第10 議案第4号 令和6年度周防大島町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 日程第11 議案第5号 周防大島町立保育所設置条例の廃止について
- 日程第12 議案第6号 周防大島町水道事業給水条例の廃止について
- 日程第13 議案第7号 周防大島町行政組織条例等の一部改正について
- 日程第14 議案第8号 周防大島町国民健康保険税条例の一部改正について
- 日程第15 議案第9号 周防大島町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について
- 日程第16 周防大島町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙
- 日程第17 岩国基地関連対策特別委員会の設置について
- 日程第18 地域活性化・害獣・防災対策特別委員会の設置について
- 日程第19 議会広報編集特別委員会の設置について
- 日程第20 行政・病院事業改革特別委員会の設置について

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定

- 日程第3 諸般の報告
- 日程第4 行政報告並びに提案理由の説明
- 日程第5 同意第1号 周防大島町監査委員（識見を有する者）の選任につき同意を求めることについて
- 日程第6 同意第2号 周防大島町監査委員（議会選出）の選任につき同意を求めることについて
- 日程第7 議案第1号 令和6年度周防大島町一般会計補正予算（第5号）
- 日程第8 議案第2号 令和6年度周防大島町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第9 議案第3号 令和6年度周防大島町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第10 議案第4号 令和6年度周防大島町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第11 議案第5号 周防大島町立保育所設置条例の廃止について
- 日程第12 議案第6号 周防大島町水道事業給水条例の廃止について
- 日程第13 議案第7号 周防大島町行政組織条例等の一部改正について
- 日程第14 議案第8号 周防大島町国民健康保険税条例の一部改正について
- 日程第15 議案第9号 周防大島町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について
- 日程第16 周防大島町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙
- 日程第17 岩国基地関連対策特別委員会の設置について
- 日程第18 地域活性化・害獣・防災対策特別委員会の設置について
- 日程第19 議会広報編集特別委員会の設置について
- 日程第20 行政・病院事業改革特別委員会の設置について

出席議員（13名）

1番	占部	智子君	2番	浅原	賢潤君
3番	山根	耕治君	4番	栄本	忠嗣君
5番	岡崎	裕一君	6番	山中	正樹君
7番	白鳥	法子君	8番	田中	豊文君
9番	新田	健介君	10番	吉村	忍君
12番	小田	貞利君	13番	尾元	武君
14番	荒川	政義君			

欠席議員（1名）

11番	久保	雅己君
-----	----	-----

欠 員 (なし)

事務局出席職員職氏名

事務局長 池永祐美子君 議事課長 林 祐子君
書 記 末武 良浩君

説明のため出席した者の職氏名

町長	……………	藤本 淨孝君	副町長	……………	岡村 春雄君
教育長	……………	星野 朋啓君	病院事業管理者	……………	石原 得博君
総務部長	……………	中元 辰也君	産業建設環境部長	……………	瀬川 洋介君
健康福祉部長	……………	中村 晴彦君	上下水道部長	……………	藤本 倫夫君
統括総合支所長	……………	松村 浩君			
会計管理者兼会計課長	……………				江本 達志君
教育次長	……………	木谷 学君	病院事業局総務部長	……………	山中 茂雄君
総務課長	……………	梅木 義弘君	財務課長	……………	岡原 伸二君
税務課長	……………	宮崎由紀子君	施設整備課長	……………	江口 光幸君

午前9時30分開会

○議長（荒川 政義君） 改めまして、おはようございます。

ただいまから令和6年第4回周防大島町議会定例会を開会いたします。

久保議員から欠席の通告を受けております。

直ちに、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付してあるとおりです。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（荒川 政義君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

今期定例会の署名議員は、会議規則第127条の規定により、3番、山根耕治議員、4番、栄本忠嗣議員を指名いたします。

日程第2. 会期の決定

○議長（荒川 政義君） 日程第2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。今期定例会の会期は、去る11月26日開催の議会運営委員会において協議の結果、お手元に配付してある会期日程のとおり、本日から12月20日までの18日間としたいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） 異議なしと認めます。よって、今期定例会の会期は、お手元に配付してある会期日程のとおり、本日から12月20日までの18日間とすることに決定しました。

日程第3. 諸般の報告

○議長（荒川 政義君） 日程第3、諸般の報告を行います。

それでは、本年9月定例会以降の諸般について御報告をいたします。

まず、本日までに議会に提出されております文書について、地方自治法の規定に基づき、監査委員より例月現金出納検査（9月・10月・11月実施分）と定期監査（9月・10月実施分）の結果の報告がありましたので、お手元にその写しを配付いたしております。

次に、陳情・要望等につきまして、一般社団法人中国における臓器移植を考える会から、陳情・要望第44号臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書の国への提出を求める陳情書を受理しましたので、議員配付として既にお手元にお届けしております。

続きまして、系統議長会関係について御報告をいたします。

まず、柳井広域の関係では、令和6年9月27日に柳井地域広域水道企業団議会第2回臨時会が招集され、竹田議員並びに山根議員が出席されました。

次に、令和6年10月10日に柳井地区広域市町議会議長会臨時総会が開催され、令和6年度決算見込み並びに令和7年度事業計画等が審議されました。また、会則の一部改正を審議し、令和7年4月1日から、田布施町議会が柳井地区広域市町議会議長会に加入されることが可決されました。

また、令和6年11月28日に開催された柳井地区広域消防組合議会第2回臨時会が招集され、岡崎議員並びに久保議員が出席されました。

次に、山口県の関係では、令和6年11月7日の山口県町議会議長会11月定例会では、令和7年度の事業計画等を審議し、全ての議案は全会一致で可決されました。

次に、全国の関係について御報告いたします。

令和6年11月13日に、NHKホールにおいて第68回町村議会議長全国大会が開催されました。大会では、議員のなり手不足対策及び議会への多様な人材参画、地方創生のさらなる推進、少子化対策及び子ども・子育て政策の推進、デジタル社会の実現に向けた施策の推進、脱炭素社

会の実現等に向けた環境保全対策の推進のほか、農林水産商工業の強化や地域保健医療の向上と充実など、28項目の決議を採択いたしました。

なお、議員のなり手不足対策及び議会への多様な人材参画に関する重点要望につきましては、先般、議員各位のお手元にお届けしたところでございます。

以上が全国の関係であります。

次に、議員派遣の関係です。

岩国基地関連対策特別委員会では、令和6年11月11日から13日にかけて沖縄県に赴き、沖縄防衛局、宜野湾市議会を表敬訪問し、キャンプ・シュワブの現地視察のほか、基地における現状と課題、有事の際の対応等について意見交換を行いました。

東京、関西の町人会関係につきましては、情報が入り次第、議員各位にお知らせをさせていただきます。

最後になりますが、令和7年2月21日、山口市において、山口県町議会議長会主催の議員研修が予定されております。後日、事務局から御案内させていただきますので、議員各位の御参加をよろしくお願いいたします。

以上で、諸般の報告を終わります。

日程第4. 行政報告並びに提案理由の説明

○議長（荒川 政義君） 日程第4、行政報告並びに提案理由の説明に入ります。

町長から行政報告並びに提案理由の説明を求めます。藤本町長。

○町長（藤本 浄孝君） 皆様、おはようございます。令和6年第4回周防大島町議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、師走の大変御多忙の折にもかかわらず御参集賜り、誠にありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

私は、去る令和6年10月27日の町長選挙におきまして、皆様方をはじめ町民各位の力強い御支援、そして各方面の方々からの御推薦を賜り、2期目の町政を担わせていただくこととなりました。この上なく光栄に感じますとともに、その使命と責任の重大さに身の引き締まる思いがいたしております。

就任後、最初の定例会の開会にあたりまして、町政運営に関する所信の一端を申し述べ、町議会並びに町民の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げる次第でございます。

町民の皆様から付託されました人と自然が響きあう笑顔あふれる安心のまち周防大島、そして、周防大島がいちばんと実感していただける町づくりの実現に向け、全力で取り組んでまいり所存であります。

そのためには、やはり行財政改革を引き続き取り組むべき大きな課題の1つであると考えてお

ります。

本年度の当初予算においては、エネルギー価格の高騰や円安の進行による物価の上昇、公共施設等の大規模改修・更新などにより、一般会計では159億4,000万円と過去最大規模となり、財政調整基金から多くの金額を取り崩すこととなりました。今後においても、公共施設等の維持管理、ライフラインの更新、特別会計への多額の繰出金等が必要となることが想定されています。

こうした本町財政状況の中、町民生活の向上に資する取り組みや未来を見据えた町づくりへの戦略的な投資や施策については積極的に進めることとし、財源不足の慢性化を招かないため、事務事業の選択と集中、新たな歳入の確保と支出すべき歳出の見極めを行うとともに、今まで以上に行政の効率化、簡素化に取り組んでいく必要があります。

いかなる行政運営も健全なる財政のうえに成り立つことを、私をはじめ全職員がいま一度しっかりと意識し、どのような財政環境の変化、社会情勢の変化等にも耐え得る行財政運営に取り組んでいかなければならないと強く強く感じております。

町民の皆様と町の未来を考え、周防大島がいちばんと実感していただける町づくりの実現に向け、財政の健全化を基本とし、このたび重要政策として3つあげて全力で取り組んでまいります。

1番目は、まちの安心・安全づくりについてであります。

町民の皆様の生命や暮らしを守ることは、自治体の最も重要な責務であり、南海トラフ巨大地震や津波、大雨による土砂災害などの自然災害や交通事故、火災、犯罪などへの対策を関係機関や自主防災組織、自治会等の団体と緊密に連携し、周防大島町でどのような災害が起きようとも一人の犠牲者も出さないことを第一に、防災対策に努めてまいります。

また、人口減少や少子高齢化の進展、公共交通対策、環境問題や空家・空地対策、複雑多様化する住民ニーズへの対応など本町を取り巻く課題は山積しており、これら多くの課題の解決に向け、議会の皆様並びに町民の皆様からの建設的な意見をしっかりと聞き、町の施策等に反映させ、まちの安心・安全づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

2番目は、まちの元気づくりについてでございます。

あしたの地域を担うのは人であり、町政の大きな柱として島の未来を担う人材育成のために、少子化対策、子育て、教育環境の充実など、さらなる施策を講じてまいりたいと考えております。

同時に、地域の活力源は産業であり、島の強みを生かした観光力の強化や強い農林水産業の育成、地元企業の創業・起業・円滑な事業継承や定住対策などを果敢に進め、地域を活性化させてまいりたいと考えております。

3番目は、まちの未来基盤づくりについてでございます。

本町が抱える多くの課題を直視し、町の組織や機構などについては、その時代の社会情勢に合

った体制を構築していくとともに、暮らしや産業の基盤となる交通基盤の確保と利便性の向上、防災・防犯対策、医療介護福祉の充実、産業の振興、環境問題など本町が直面する多くの地域課題を克服するために不可欠な国また県との連携を強化し、町の未来に向けた基盤づくりを進めてまいります。

これから新たに与えられた4年間は、周防大島町政にとりまして財政環境を含め大きな転換期を迎えることとなると考えており、私といたしましては町議会の皆様並びに町民の皆様の御協力をいただきながら、初心を忘れることなく、4年前にも申し上げましたとおり勇気と真心と一緒に新しい生活の場所を創り、前例にとらわれない創意工夫で周防大島の可能性を伸ばす、をまちづくりの目標に全身全霊を傾け町政運営に邁進してまいりたいと決意いたしております。

今後とも、皆様方のより一層の御指導、御支援を賜りますようお願いを申し上げまして、2期目就任にあたりましての所信表明とさせていただきます。どうぞよろしくようお願い申し上げます。

それでは、議案の説明に先立ちまして、行政報告を2件申し上げます。

まず1件目は、ハワイ州教育局カウアイ郡教育長及び小学校長による町内小中学校の訪問についてでございます。

令和6年10月6日から7日にかけて、ハワイ州教育局カウアイ郡のハマダダニエル教育長及びウィルコックス小学校の中村コーリー校長、コロア小学校の小林レイラ校長が来町され、町内の小中学校を訪問されましたので、御報告いたします。

このたびの訪問は、姉妹都市である周防大島町と滋賀県守山市へ、日本の教育システムの視察を目的として訪問されたもので、本町におきましては、これまでのカウアイ島との60年を超える交流の中で初めての教育的な交流となりました。

本町へは令和6年10月6日の午後に来町されまして、日本ハワイ移民資料館を見学し、大島からの移民の歴史についての説明を受け、移民の渡航履歴を検索されました。

翌日の令和6年10月7日には、大島庁舎へ表敬訪問をいただきまして、私と星野教育長が情報交換や意見交換を行いました。その後、明新小学校、大島中学校、東和小学校の順で学校を訪問されました。

明新小学校では、学校の1日の流れや1年間の行事等の流れ、地域と連携した教育活動や学校行事の様子などの説明があり、その後、授業の様子や給食車が給食を搬入する様子を見学していただきました。

大島中学校では、授業や行事、部活動の様子の説明を受け、英語の授業へ飛び入り参加していただき、対話をしていただくという場面もありました。また、お昼には校長室で生徒と同じ給食を食べていただきました。

続いて、東和小学校では、手作りのレイを子ども達がプレゼントし、フラダンスの披露を行い

ました。その後、学校の概要や環境プロジェクトへの取り組みなどの説明を受け、授業の様子や子ども達が学校を掃除する様子を見学をしていただきました。

このたびの学校訪問を通じて、コア小学校は明新小学校と、ウィルコックス小学校は東和小学校と、これから緊密に連携して取り組むことに意欲を示していただくことができました。そしてまた、提携を検討していきたいと考えているとの御連絡をいただいたところでございます。

教育関係におきましても新たな交流の兆しがあり、まずは、学校間での連絡を取り合いながら交流の手法や内容などを調整していき、連携して取り組んでいきたいと考えているところでございます。

今後、次世代を担う子ども達が、国際交流という新たな教育活動を通じて国際感覚を養い、お互いを理解しあうことのできる交流となっていくものと考えております。

続いて、2件目は、米軍岩国基地関連についてであります。

岩国基地周辺地域の振興策等に関する防衛大臣要望が令和6年11月14日に防衛省において行われましたので、その概要を御報告いたします。

政府要望にあたりましては、山口県執行部から村岡県知事、永富総合企画部長、田中総務部理事が、そして、山口県議会からは柳居県議会議長が出席をされ、中谷防衛大臣に要望書を手交し、その内容について説明がされているところでございます。

今回の要望では、空母艦載機移駐後の状況を踏まえた安心・安全対策の実施、移駐後の基地周辺地域の負担と国防への貢献を踏まえた地域振興策の確実な実施について、改めて重点的に要望されました。

空母艦載機の移駐完了から6年が経過した現状として、1番目が、移駐前と比べて総じて騒音が増大していること。2番目は、相次ぐ米軍艦船の岩国基地への寄港、外来機の一時展開、配備機の機種更新など、基地の運用について様々な変化が見られるようになっていること、これらが伝えられました。

特に、令和6年7月に計画が示された配備機の機種更新等に関しまして、基地周辺住民においては、令和5年11月のオスプレイの事故等の影響によって、不安や懸念を示す声があることもしっかりと国に伝えられています。

こうした状況を踏まえ、飛行運用にかかる騒音軽減措置の実施や住民の不安解消に向けた措置の実施等のもとより、CMV-22オスプレイに対する安全対策の徹底、こちらを強く求めるとともに、安心・安全対策の推進や地域振興策の確実な実施への取り組みのさらなる強化を要望されています。

今回の要望に対しまして、中谷防衛大臣からは、要望をいただいた安心・安全対策、地域振興策について、その趣旨をしっかりと受け止めて適切に対応してまいります。また、再編関連特別

地域整備事業いわゆる県交付金と、地元市町への米空母艦載機部隊配備特別交付金についても、しっかりと予算措置を講じ所要額の確保に努めるなど、適切に対応してまいりたいとの御発言をいただいたということでございます。

以上が、防衛大臣要望の概要でございます。

米軍岩国基地に関する状況等につきましては、今後も継続して本会議へ報告するとともに、県及び関係市町と連携して、町民の安心・安全の確保に努めてまいります。

以上、行政報告を2件させていただきました。

それでは、提出議案の概要につきまして御説明を申し上げます。

本定例会に提案しております案件は、同意2件、補正予算に関するもの4件、条例の廃止2件、条例の一部改正2件、周防大島町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について1件の合計11件であります。

同意第1号は、周防大島町監査委員（識見を有する者）の選任について、議会の同意を求めるものであります。

同意第2号は、周防大島町監査委員（議会選出）の選任について、議会の同意を求めるものであります。

議案第1号は、令和6年度周防大島町一般会計補正予算（第5号）であります。

既定の予算に1億4,446万3,000円を追加し、補正後の予算の総額を168億6,405万6,000円とするものであります。

議案第2号は、令和6年度周防大島町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）であります。

既定の予算に2億5,116万3,000円を追加し、補正後の予算の総額を27億3,229万1,000円とするものであります。

議案第3号は、令和6年度周防大島町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）であります。

既定の予算に、49万8,000円を追加し、補正後の予算の総額を5億677万8,000円とするものであります。

議案第4号は、令和6年度周防大島町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）であります。

保険事業勘定の既定の予算に49万8,000円を追加し、補正後の予算の総額を35億3,363万7,000円とするものであります。

議案第5号周防大島町立保育所設置条例の廃止については、令和7年3月末の町立久美保育所の閉所に伴い、周防大島町立保育所設置条例を廃止しようとするものであります。

議案第6号周防大島町水道事業給水条例の廃止については、柳井地域広域水道企業団への統合

による本町水道事業の移管に伴い、周防大島町水道事業給水条例を廃止しようとするものであります。

議案第7号周防大島町行政組織条例等の一部改正については、令和7年4月1日に予定しております機構改革について、関連する各種条例を改正するものであります。

議案第8号周防大島町国民健康保険税条例の一部改正については、保険税率の見直し等により、令和7年度から国保税の引下げを行うことに伴い、条例の一部を改正するものであります。

議案第9号周防大島町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定については、地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する法律第3条第1項の規定により、周防大島町の特定事務を委託するため、同法第3条第3項の規定のとおり、和田郵便局を指定することについて議会の議決を求めるものであります。

以上、議案等の概要につきまして御説明申し上げましたが、詳しくは提案の都度、私または関係参与が御説明いたしますので、何とぞ慎重なる御審議のうえ、御議決賜りますようよろしくお願いいたします。

○議長（荒川 政義君） 以上で、行政報告並びに提案理由の説明を終わります。

日程第5. 同意第1号

○議長（荒川 政義君） 日程第5、同意第1号周防大島町監査委員（識見を有する者）の選任につき同意を求めることについてを上程し、これを議題とします。

提出者の説明を求めます。藤本町長。

○町長（藤本 浄孝君） 同意第1号周防大島町監査委員（識見を有する者）の選任につきまして、補足説明を申し上げます。

厳しい財政状況の中、より効率的で効果的な行財政運営を進めるため、本町の識見監査委員には、地方公共団体の財務管理並びに経営管理に関する豊富な専門知識と経験を有しておられる池田友彰氏を周防大島町監査委員として選任したいと存じます。

池田氏は、人格は高潔で優れた識見を有し、周防大島町監査委員として最適任であると考えております。

よって、地方自治法第196条第1項の規定に基づき、議会の同意をお願いするものであります。任期は選任後の4年間です。

池田氏の経歴につきましては、資料を添付しておりますので、これを御参考のうえ、御同意を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（荒川 政義君） 説明が終わりました。

お諮りします。本件は人事案件でありますので、質疑、討論は省略したいと思います。御異

議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） 異議なしと認めます。

これより起立による採決を行います。同意第1号周防大島町監査委員（識見を有する者）の選任につき同意を求めることについて、これに同意することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（荒川 政義君） 起立全員であります。よって、本案は原案のとおり同意することに決定いたしました。

日程第6. 同意第2号

○議長（荒川 政義君） 日程第6、同意第2号周防大島町監査委員（議会選出）の選任につき同意を求めることについてを上程し、これを議題とします。

地方自治法第117条の規定により、山根耕治議員の退場を求めます。

〔3番 山根 耕治君 退場〕

○議長（荒川 政義君） 提出者の説明を求めます。藤本町長。

○町長（藤本 浄孝君） 同意第2号周防大島町監査委員（議会選出）の選任につきまして、補足説明を申し上げます。

議員のうちから選任した監査委員の任期満了に伴い、新たに山根耕治氏を選任したいと存じます。

山根氏は、議会議員の経験も豊富で、行財政の管理運営にも精通されており、事業の経営管理に関する専門知識を有しておられます。

人格等については、改めて申し上げるまでもなく、皆さん御承知のこととは存じますが、高潔、公正であることから、本町の監査委員に適任であると考えており、地方自治法第196条第1項の規定に基づき、議会の同意をお願いするものでございます。任期は議員の任期によるとされております。

何とぞ議員各位の御同意を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（荒川 政義君） 説明が終わりました。

お諮りします。本件は人事案件でありますので、質疑、討論は省略したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） 異議なしと認めます。

これより起立による採決を行います。同意第2号周防大島町監査委員（議会選出）の選任につ

き同意を求めることについて、これに同意することに賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（荒川 政義君） 起立全員であります。よって、本案は原案のとおり同意することに決定をいたしました。

山根議員の入場を許します。

[3番 山根 耕治君 入場]

○議長（荒川 政義君） ただいま同意されました山根議員がいらっしゃいますので、山根議員より御挨拶をお願いいたします。

○議員（3番 山根 耕治君） このたび選任されました山根耕治です。議会の責務をしっかりと果たしていくべく職務に邁進してまいりたいと思っております。力を尽くしてまいります。よろしくをお願いいたします。（拍手）

日程第7. 議案第1号

日程第8. 議案第2号

日程第9. 議案第3号

日程第10. 議案第4号

○議長（荒川 政義君） 日程第7、議案第1号令和6年度周防大島町一般会計補正予算（第5号）から、日程第10、議案第4号令和6年度周防大島町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）までの4議案を一括上程し、これを議題とします。

補足説明を求めます。中元総務部長。

○総務部長（中元 辰也君） 議案第1号令和6年度周防大島町一般会計補正予算（第5号）につきまして、補足説明をいたします。

補正予算書の1ページをお願いいたします。

今回の補正は、第1条に定めますとおり、既定の歳入歳出予算の総額に1億4,446万3,000円を追加し、予算の総額を168億6,405万6,000円とするとともに、第2条において債務負担行為の補正を行うものでございます。

その概要につきまして、事項別明細書により御説明をいたします。

11ページをお願いいたします。

歳入につきまして、14款国庫支出金1項国庫負担金1目民生費国庫負担金1節社会福祉費負担金において、国保基盤安定負担金、未就学児均等割保険税負担金及び産前産後保険税負担金にかかる交付申請額確定に伴う計上でございます。

2節障害福祉費負担金の障害者自立支援給付費負担金は、報酬改定による給付費の増額見込み

に伴う財源の追加計上でございます。

育成医療給付費負担金は、聴覚障害等の育成医療給付費の申請額増加見込みに伴う財源の追加計上でございます。

2目衛生費国庫負担金の未熟児養育医療負担金は、申請件数増加に伴う財源の追加計上でございます。

2項国庫補助金1目総務費国庫補助金につきまして、中間サーバー・プラットフォーム交付補助金は、社会保障・税番号制度システム整備費補助金の交付決定により、387万6,000円の計上でございます。

米空母艦載機部隊配備特別交付金は、今年度の内示に伴う事業調整のため9,608万7,000円を追加計上するとともに、歳出において充当額の調整を行っております。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金は、追加配分に伴い、5,271万2,000円を追加計上し、充当額の調整を行っております。

2目民生費国庫補助金につきまして、2節障害福祉費補助金の地域生活支援事業補助金は、障害者地域生活支援事業における日中一時支援事業の利用者増加に伴う財源の追加計上でございます。

4節老人福祉費補助金の介護保険事業費補助金は、介護報酬改定等システム改修に対する補助金内示に伴う計上でございます。

12ページをお願いいたします。

15款県支出金1項県負担金1目民生費県負担金2目衛生費県負担金につきましては、国庫負担金と同様に各負担金を計上しております。

2項県補助金2目民生費県補助金につきまして、1節社会福祉費補助金の国保負担軽減対策費助成事業補助金は、確定に伴う減額計上でございます。

2節障害福祉費補助金の地域生活支援事業補助金は、国庫補助金と同様に、日中一時支援事業にかかる財源の追加計上でございます。

4目農林水産業費県補助金の新規漁業就業者定着促進事業費補助金は、漁船リース事業にかかる県の補助金上限額引上げに伴う200万円の追加計上でございます。

13ページをお願いいたします。

17款1項寄附金1目一般寄附金のふるさと寄附金は、増額が見込まれるため540万円の追加計上でございます。また、企業版ふるさと寄附金の御寄附をいただきましたので、10万円を計上しております。

18款繰入金1項基金繰入金1目財政調整基金繰入金は、財政調整基金の取り崩しを2,297万4,000円を減額し、財源調整を行うものでございます。

3 目ちびっ子医療費助成事業基金繰入金、9 目まち・ひと・しごと創生基金繰入金は、それぞれ事業の補正に伴う調整でございます。

2 0 款諸収入 4 項 2 目雑入は、語学留学生派遣事業の完了に伴う参加負担金の計上でございます。

次に歳出でございます。

1 4 ページをお願いいたします。

2 款総務費 1 項総務管理費 1 目一般管理費の契約監理一般経費は、建設工事総合評価方式入札の落札者決定基準の一部改正並びに週休 2 日工事の実施要領改正に伴う契約・工事管理システム改修業務委託料の計上でございます。

5 目財産管理費の基金管理経費は、米空母艦載機部隊配備特別交付金を財源とする基金の積立金として 1 億 6 0 8 万 7, 0 0 0 円の計上でございます。

6 目企画費の企画一般経費は、過疎対策促進協議会負担金の確定に伴う減額でございます。

離島振興事業費は、離島振興協議会負担金の確定に伴う減額でございます。

ふるさと応援事業は、ふるさと寄附金の増額見込みに伴い、返礼品等所要経費や基金積立金の追加により 8 8 6 万 1, 0 0 0 円の計上でございます。

1 5 ページをお願いいたします。

7 目支所及び出張所費につきまして、久賀支所管理経費は、宿日直業務委託料の単価改正に伴う追加計上のほか、令和 7 年 4 月 1 日に予定しております本町行政組織の機構改革に対応するための経費として、電話設備工事、備品購入費を計上いたしております。

大島支所管理経費は、消防用設備等点検結果により不具合のあった非常口誘導灯の交換修繕費や宿日直業務委託料の単価改正に伴う追加計上でございます。

東和支所管理経費は、公用車燃料費について、今後不足が見込まれることから燃料費の増額計上、また、令和 7 年 4 月から和田郵便局において町の特定の事務を取り扱う予定としていることから、和田郵便局で受け付けた各種申請書を総合支所等へファックス送信するための経費として、和田郵便局内の電話回線新設工事及び複合機購入費を計上いたしております。

小規模施設整備事業費（東和）につきましては、地域の要望に対応するため、小規模施設整備事業補助金を追加計上いたしております。

橘支所管理経費は、公用車燃料費について、今後不足が見込まれることから燃料費を増額し計上するものでございます。

1 6 ページをお願いいたします。

8 目電子計算費の電算システム管理事業費は、6 8 3 万 3, 0 0 0 円を計上いたしております。

需用費消耗品費は、プリンター用トナーカートリッジ等購入費について、今後、不足が見込ま

れることから増額計上いたしております。

委託料は、町の各種証明書等を和田郵便局で発行できるようにするため、和田郵便局内に庁内ネットワーク環境を整備する経費を計上いたしております。

負担金、補助及び交付金には、地方公共団体情報システム機構への中間サーバー・プラットフォーム交付金の追加計上でございます。

10目交通安全対策費の交通安全対策事業は、交通災害共済申込書の郵送料値上げに伴う通信運搬費の追加計上でございます。

2項徴税费1目税務総務費は、定額減税補足給付金事業に対する物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加配分に伴う財源内訳の調整でございます。

2目賦課徴収費の賦課徴収事務費は、地方公共団体情報システム標準化に伴うテスト印刷用の納付書印刷経費の計上でございます。

17ページをお願いいたします。

3項1目戸籍住民基本台帳費の戸籍住民基本台帳一般管理経費は、和田郵便局に戸籍システム専用プリンターを設置するため、設定業務委託料と戸籍システム専用プリンター購入費を計上いたしております。

また、委託料の新行政区設定業務は、久賀地区の大崎自治会が大崎自治会と大崎2自治会に分割することに伴う基幹系システムの行政区追加設定業務でございます。

3款民生費1項社会福祉費1目社会福祉総務費のちびっ子医療費助成事業と中学生医療費助成事業につきましては、それぞれ件数の増加並びに助成単価増額見込みに伴う追加計上でございます。

社会福祉施設整備事業経費は、デイサービスセンター福寿苑の浴槽循環ポンプ故障による更新経費の計上でございます。

2目障害福祉費の障害者地域生活支援事業は、日中一時支援事業の利用者増加に伴う追加計上でございます。

18ページをお願いいたします。

障害者自立支援給付費事業は、特定障害者特別給付費及びサービス利用計画作成費にかかる令和6年度報酬改定に伴い336万9,000円の追加計上でございます。

育成医療事業は、聴覚障害及び内部障害にかかる申請件数増加に伴う扶助費の追加計上でございます。

5目介護保険対策費は、介護報酬改定等システム改修に対する国庫補助金充当に伴う財源内訳の調整でございます。

4款衛生費1項保健衛生費1目保健衛生総務費の保健総務一般経費は、出産・子育て応援給付

金事業等にかかる過年度精算に伴う償還金の計上でございます。

母子保健事業は、申請件数増加見込みに伴う未熟児養育医療給付金の追加計上でございます。

2 目予防費の予防接種事業は、子宮頸がんワクチンの接種人数増加見込みに伴い、670万6,000円の追加計上でございます。

19ページをお願いいたします。

5 款農林水産業費 1 項農業費 7 目農村環境改善センター費につきまして、油田センター管理運営経費、白木センター管理運営経費は、いずれも電気料に不足が見込まれることから光熱水費を増額し計上するものであります。

3 項水産業費 2 目水産業振興費の水産振興対策事業は、新規漁業就業者確保育成推進事業補助金について、県の補助要綱改正による補助金上限額の引き上げに伴い、400万円の追加計上でございます。

3 目漁港管理費につきまして、漁港施設管理事業は、漁港施設にかかる電気料の不足が見込まれることから、光熱水費の追加計上と漁港標識灯の故障に伴う修繕費の計上でございます。

20ページをお願いいたします。

漁港施設整備事業について、委託料は、油田漁港海岸高潮対策工事の工程調整に伴う建土工損調査業務の取りやめによる減額、三蒲東浜高潮対策工事地盤変動影響調査業務費の確定による減額、工事請負費は三蒲東浜高潮対策工事を増額変更し、合計912万5,000円減額するとともに、米空母艦載機部隊配備特別交付金の充当額の調整を行っております。

7 款土木費 4 項港湾費 1 目港湾管理費の港湾施設管理経費は、排水機場等の電気料に不足が見込まれることから光熱水費を増額し計上するものでございます。

8 款 1 項消防費 2 目非常備消防費の消防施設管理事業は、公益財団法人日本消防協会から消防団防災学習・災害活動車両交付事業の交付決定を受け、交付されるワンボックス型自動車の登録諸費用等を計上いたしております。

21ページをお願いいたします。

3 目消防施設費の消防施設整備事業は、志佐地区の消火栓漏水修繕費の計上でございます。

9 款教育費 1 項教育総務費 2 目事務局費につきまして、廃校利用対策経費は、近隣住民からの要望による旧和田小学校グラウンド周辺の樹木剪定業務委託料50万円を計上いたしております。

語学留学生派遣事業は、ハワイ州カウアイ島への語学留学生派遣事業の完了に伴い、71万6,000円の減額計上でございます。

スクールバス管理運営経費は、油田森野線のスクールバスのエンジン系故障等により緊急修繕を行ったため、今後予定している車検費用等修繕費に不足が見込まれることから、143万8,000円を追加計上いたしております。

22ページをお願いいたします。

2項小学校費1目学校管理費の小学校施設管理経費は、島中小学校の外壁修繕や遊具点検結果による遊具修繕費等として114万8,000円を計上しております。

12款諸支出金1項1目繰出金は、各特別会計の補正予算に対応した繰出金597万円の計上でございます。

以上が、歳入歳出予算補正の概要でございます。

続きまして、6ページにお戻りいただきたいと思っております。

債務負担行為の補正についてでございます。

スクールバス運行业務委託事業について、期間は令和7年度から令和8年度までとし、その限度額は1億6,000万円とする債務負担行為の追加でございます。

以上が、議案第1号令和6年度周防大島町一般会計補正予算（第5号）についての概要でございます。

何とぞ慎重なる御審議のうえ、御議決を賜りますようお願い申し上げ、補足説明を終わらせていただきます。

○議長（荒川 政義君） 次に、中村健康福祉部長。

○健康福祉部長（中村 晴彦君） それでは、議案第2号から議案第4号の補足説明をいたします。

議案第2号令和6年度周防大島町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）について、補足説明を行います。

今回の補正は、歳入においては、普通交付金、保険基盤安定事業等にかかる一般会計繰入金の増減、歳出においては一般被保険者療養給付費等の増額が主なものでございます。

補正予算つづりの23ページをお願いいたします。

第1条で、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億5,116万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ27億3,229万1,000円とするものでございます。

詳細につきましては、事項別明細書で御説明いたします。

31ページをお願いいたします。

歳入から御説明いたします。

3款県支出金1項県補助金1目保険給付費等交付金1節普通交付金は、一般被保険者分にかかる療養給付費、高額療養費の所要額増に伴い、2億4,618万9,000円を増額するものでございます。

5款繰入金1項他会計繰入金1目一般会計繰入金を497万4,000円追加計上いたしております。これは、一般会計からの繰入金で、負担金交付申請額の確定により、1節保険基盤安定事業繰入金（保険税軽減分）を326万4,000円増額、2節保険基盤安定繰入金（保険者支

援分) を 1 6 1 万 9, 0 0 0 円増額、3 節未就学児均等割保険税繰入金を 2 2 万 5, 0 0 0 円増額、5 節産前産後保険税繰入金を 5 万円減額、普通交付税の確定により、7 節財政安定化支援事業繰入金を 1 5 0 万 7, 0 0 0 円増額、8 節その他一般会計繰入金のうち、国保負担軽減対策繰入金額の確定により、国保負担軽減対策を 1 5 9 万 1, 0 0 0 円減額するものでございます。

次に、歳出について御説明いたします。

3 2 ページをお願いいたします。

1 款総務費 1 項総務管理費 1 目一般管理費は、国保データベースシステム使用料として 3 1 万 4, 0 0 0 円を増額するものでございます。

2 款保険給付費 1 項療養諸費 1 目一般被保険者療養給付費は、1 0 月決定分までの給付実績に基づく年間医療費の推計から所要額の不足が見込まれるため、2 億 2, 3 9 0 万円を増額するものでございます。

2 項高額療養費 1 目一般被保険者高額療養費は、1 0 月決定分までの給付実績に基づく年間医療費の推計から、所要額の不足が見込まれるため、2, 2 1 9 万円を増額するものでございます。

3 3 ページをお願いいたします。

3 項移送費 1 目一般被保険者移送費は、9 万 9, 0 0 0 円の増額をするものでございます。

5 款 1 項 1 目基金積立金では、歳入額の増額に伴う調整のため、3 6 6 万円を増額するものでございます。

6 款諸支出金 1 項償還金及び還付加算金 2 目保険給付費等交付金償還金は、普通交付金等の償還額確定に伴い、1 0 0 万円増額計上いたしております。

以上が、令和 6 年度周防大島町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）についての概要でございます。

続きまして、議案第 3 号令和 6 年度周防大島町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 2 号）につきまして、補足説明を行います。

今回の補正は、歳入において、徴収経費にかかる一般会計繰入金を増額、歳出において、総務費の増額によるものでございます。

補正予算つづりの 3 5 ページをお願いいたします。

第 1 条で、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 4 9 万 8, 0 0 0 円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 5 億 6 7 7 万 8, 0 0 0 円とするものでございます。

詳細につきましては、事項別明細書で御説明いたします。

4 3 ページをお願いいたします。

歳入から御説明いたします。

3 款繰入金 1 項他会計繰入金 1 目事務費繰入金について、徴収経費として 4 9 万 8, 0 0 0 円

を増額いたします。

次に、歳出について御説明いたします。

44ページをお願いいたします。

1款総務費2項1目徴収費は、やまぐち自治体クラウド地方公共団体情報システム標準化、共通化移行に伴うテスト用納付書の印刷経費として49万8,000円増額いたします。

以上が、令和6年度周防大島町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）についての概要でございます。

続きまして、議案第4号令和6年度周防大島町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）につきまして、補足説明を行います。

補正予算つづりの45ページをお願いいたします。

今回の補正は、保険給付費の実績見込みによるものが主なものでございます。

第1条で、既定の保険事業勘定の歳入歳出予算の総額に49万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を35億3,363万7,000円とするものであります。

まず、保険事業勘定の歳入から御説明いたします。

事項別明細書の55ページをお願いいたします。

6款繰入金1項他会計繰入金5目その他一般会計繰入金は、財源調整のため49万8,000円を増額いたします。

次に、歳出について御説明いたします。

56ページをお願いいたします。

1款総務費2項徴収費1目賦課徴収費は、介護保険料納付書の印刷製本費として49万8,000円を増額いたします。

2款保険給付費1項サービス諸費1目介護サービス等給付費は、居宅介護サービス給付費の実績見込みにより300万円を減額いたします。

3項高額介護サービス等費1目高額介護サービス費は、高額介護サービス費の実績見込みにより300万円を増額いたします。

以上が、令和6年度周防大島町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）についての概要でございます。

以上で、議案第2号から第4号までの補足説明を終わります。

何とぞ慎重なる御審議のうえ、御議決を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（荒川 政義君） 説明が終わりました。

暫時休憩します。

午前10時30分休憩

.....
午前10時41分再開

○議長（荒川 政義君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

説明が終わりましたので、これから質疑に入ります。質疑は議案ごとに行います。

議案第1号令和6年度周防大島町一般会計補正予算（第5号）について、質疑はございませんか。田中議員。

○議員（8番 田中 豊文君） 4点ほど。16ページの庁内イントラ敷設業務245万6,000円と17ページの新行政区設定業務50万1,000円、これはどういう方法でこの金額が出たのか。積算方法について御答弁をお願いします。

21ページの廃校利用対策経費、旧和田小学校グラウンド周辺の樹木剪定ということだが、この管理は町がやるべきものなのかどうか、そこを御答弁ください。

22ページの小学校施設管理経費114万8,000円、今回、令和6年12月に補正が必要になった理由について、経緯とともに御答弁をお願いします。

○議長（荒川 政義君） 中元総務部長。

○総務部長（中元 辰也君） 田中議員から庁内イントラ敷設業務の積算の根拠という御質問だったと思います。この分につきましては、委託料としては株式会社アイ・キャンと株式会社サンネットから見積りを徴取し、それをもとに予算を計上しております。

もう1点の、新たな行政区の設定作業につきましては、株式会社サンネットより見積りを徴取し、それを予算計上しております。

以上です。

○議長（荒川 政義君） 木谷教育次長。

○教育次長（木谷 学君） まず、町が廃校管理するのかという御質問ですが、旧和田小学校の校舎は企業に貸付けしておりますが、グラウンドについては町が管理することとなっておりますので、このたび、校木の剪定について予算を計上させていただきました。

小学校施設管理の修繕経費について、これは、大きく3つございます。1つは、島中小学校の教室の外壁にクラックが入って、雨がしみ込んでくるということで、建物の管理上、早急に修繕したほうがいいだろうという判断でこのたび計上させていただきました。

次に東和小学校の太陽光発電にかかる売電用の取引用電力量計機器が、令和7年4月末で有効期限が切れるので、それまでに修繕をしたい、取り替えを行いたいということで予算を計上させていただきました。

最後に、小学校全校の遊具の点検を夏休みの間にしたところ、7校12か所の遊具に不具合が見られたので、これも早く修繕したいということで予算計上をさせていただきました。

以上でございます。

○議長（荒川 政義君） 中元総務部長。

○総務部長（中元 辰也君） 田中議員から御質問の庁内イントラ敷設業務の245万6,000円のことについて、私の説明の仕方がまずかったのかなと思います。

1つは、和田郵便局の引き込み業務委託として株式会社アイ・キャンから36万5,200円、もう1つが、和田郵便局への基幹系プリンター等の設置業務として株式会社サンネットに見積りを依頼し、金額は209万円の2つの合計になっております。大変申し訳ございませんでした。

○議長（荒川 政義君） 田中議員。

○議員（8番 田中 豊文君） もう1点、16ページの中間サーバー・プラットフォーム交付金387万6,000円というのがあります。この内容を御説明ください。

それと、今の御答弁で、共通しているんですが、要するに株式会社サンネットから見積りをもらってこの金額が出ている。その1社からの見積りということで、その金額が妥当かどうかという、まだ契約ではなく予算の段階ですが、町としてその見積額が予算額として妥当かどうかというのはどういうふうな検証をされているのか。そこを御説明ください。

それと、グラウンドは町管理ということで、22ページの小学校施設管理経費ですが、今、最初の説明では島中小学校の外壁と遊具ということでした。外壁のクラックによる雨漏りという御答弁がありましたけれど、要するにさっき聞いた質問は、何で今回補正が必要なのか、外壁クラックで雨漏りがあり、それを直さないといけないのですけれど、外壁のクラックが生じたのがいつで、それを発見したのがいつで、対策を決定したのがいつで、今回補正になりましたという説明をいただきたいのと、ちょっと聞き漏らしたんですが、東和小学校の太陽光の売電設備で修繕が必要という説明もあったが、これはどういうことなんでしょうか。ちょっと詳しく御答弁ください。

○議長（荒川 政義君） 中元総務部長。

○総務部長（中元 辰也君） 田中議員から2点ほど御質問をいただきました。

まず最初に、中間サーバー・プラットフォーム交付金についてでございます。これは令和6年度の社会保障・税番号制度システム整備事業補助金として、特定個人情報の提供の求め等に係る電子計算機の設置等関連事務の委任にかかる交付金ということとなっております。

この負担金として、支出する額と同額のことを歳入として町に受け入れているようなものでございます。

それともう1点の株式会社サンネットへの金額が妥当かどうかをどう判断するのかという御質問だったと思います。

田中議員も言われたように、今回補正予算に関する見積りでございます。実際、その契約に至

っては、基本は町のそういったシステム関係については、全て株式会社サンネットが請け負っております。そういったことで、株式会社サンネット等と新たに契約をするときは、やはり双方協議のうえ、少しでも安くならないかというような協議もあわせて行ってまいりたいと考えております。

○議長（荒川 政義君） 木谷教育次長。

○教育次長（木谷 学君） まず、島中小学校の修繕の関係で、クラックの対応ですけれども、実は令和6年7月頃に、学校における校舎の安全点検等々を実施しているときにまずそのクラックを見つけ、そういった症状が出ているということが確認されました。

その後、教育委員会で現場確認、特に雨が降ってしみているときの状況を確認し、そして業者にこの修繕について見積り依頼をしたというところですが。結果的に9月補正に間に合わなかったため、12月補正に予算要求をさせていただいたというところがございます。

また、東和小学校は旧東和中学校の建設時に太陽光設備を設置しているわけですが、太陽光発電については、学校で使わない電力については中国電力株式会社に売電するということでメーターをつけております。そのメーターが、法律に基づく有効期限が令和7年4月というところで中国電力株式会社から通知がありましたので、それに伴う対応というところがございます。

以上です。

○議長（荒川 政義君） 田中議員。

○議員（8番 田中 豊文君） 庁内イントラ敷設業務等の関係ですけれど、要するに今回予算を上げるにあたって株式会社サンネット、現行システムの業者と協議をして、見積りをいただいて、この金額が出た。

私が知りたいのは、そういった協議をするときに、さっきも言いましたけれども、この金額が妥当かどうかというのは、どういう判断というか、検証がされているのか。そもそも、そういった協議ができる技術者というのは町にいるのかいないのか、その辺の御答弁をお願いします。

技術者がいるのであれば、どこの部署にどういう技術者がいるのか、何名いるのか、そういったところを御答弁ください。

それと、これは同じようなことですが、今の小学校の修繕費の見積り、これも業者から見積りをいただいて、この予算額が出ているということだと思います。経緯は分かりました。この予算額について、こういった形でこういった業者に、何社に見積りをいただいているのか。その辺は簡単に結構ですので、御答弁ください。

○議長（荒川 政義君） 中元総務部長。

○総務部長（中元 辰也君） 田中議員から、技術者が町の職員にいないのかという御質問だったと思いますが、町の職員でそういったことに特化した技術者というのは採用していません。しかし

ながら、ある程度詳しい職員はいると認識をしております。

○議長（荒川 政義君） 木谷教育次長。

○教育次長（木谷 学君） このたびの島中小学校の修繕の予算要求にかかる見積り依頼については1社でございます。

以上です。

○議長（荒川 政義君） ほかに質疑はございませんか。白鳥議員。

○議員（7番 白鳥 法子君） 私からも幾つか御質問をさせていただきます。

13ページ、企業版ふるさと寄附金が今年度もいただけたということで、町のホームページでも拝見いたしました。町の魅力を生かした新たな人と企業の呼び込み事業に活用というふうなホームページでの情報提供では拝見しているところですが、今回の補正予算書で、この10万円が歳出部分でどこに充たるのか、ちょっと読み取れなかったので教えてください。

20ページで、港湾施設の工事の関係で、油田漁港の高潮対策の調査業務が取りやめとなって額が減ったという御説明があったかと思いますが、その具体的内容を教えてください。

21ページ、教育総務費の中で、スクールバスの修繕がございました。説明の中で、エンジン故障の緊急修繕ということでしたが、どのような故障があったのか。それがまた子ども達の送迎の最中だったのか、安全に問題がなかったのか。そういったところを教えてください。

22ページ、他会計繰出金がございます。こちらの繰出金の中で、想定外のものがあれば教えてください。よろしくお願いします。

○議長（荒川 政義君） 中元総務部長。

○総務部長（中元 辰也君） 白鳥議員の企業版ふるさと寄附金の10万円の予算について、御質問にお答えいたします。

この10万円については、まち・ひと・しごと創生基金に積み立てる予定としております。

○議長（荒川 政義君） 木谷教育次長。

○教育次長（木谷 学君） スクールバスの修繕についてでございますが、2台ございます。

1台は、油田森野線という路線で、これは一般混乗の路線でございます。内容についてはエンジンの不調で、ターボチャージャーという部品が不良で、これを交換しなければならないということになりました。4年弱を経過しているのですが、年6万キロ以上走る車で、総走行距離も既に24万5,000キロ近くになっていますので、そういう現象が出たのかなと考えております。

また、2台目については、油田久賀線という路線で、周防大島中学校に通学する14人乗りのバスですが、これについては、国道沿いに落石があつて、ちょうどカーブで、落石の場所もセンターライン寄り、なかなか落石を避けにくかったというところで、何とかまたいでいけるだろうというドライバーの判断でその落石をまたいで走行したところが、下にちょっと当たってしま

いまして、それでトランスミッション系の部品が壊れてしまったというところでございます。

双方とも安全について、逆にドライバーからすれば急ハンドル切って、急ブレーキを踏むことの判断のほうを回避したというところで、こういうことになりました。

そのまま学校まで走行できたので、無事に登校はできたというところですが、車が壊れてしまったというところでございます。

以上でございます。

○議長（荒川 政義君） 江口施設整備課長。

○施設整備課長（江口 光幸君） 白鳥議員の質問ですけれども、この事業は油田地区における高潮対策事業で、護岸のかさ上げをしてまいります。この護岸のかさ上げに伴いまして、護岸の基礎の強度を高めるために鋼管ぐいを打っています。この鋼管ぐいを打つときに、鋼管ぐいのくい打ち機の振動で付近の建物に影響を与えていないか、その辺を確認するために、工損調査、建物の調査をやっていくんですけれども、このくい打ちが今年度内に終わる見込みがありませんので、工損調査も今回取りやめということにいたしました。

○議長（荒川 政義君） 中元総務部長。

○総務部長（中元 辰也君） 先ほど私が答弁した内容で、ちょっと誤りがございましたので訂正をさせていただきたいと思います。

この企業版ふるさと寄附金の10万円については、ワーケーションI s l a n d構想加速化事業の事業実施、予算に充てておると。今まで充てておった分をまち・ひと・しごと創生基金に戻すということで、この予算書の中には財源調整ということで上がってきておりません。

以上でございます。

○議長（荒川 政義君） 中村健康福祉部長。

○健康福祉部長（中村 晴彦君） 22ページの他会計繰出金の中に法定外のものがあるのかは、法定外のものはないということです。

○議長（荒川 政義君） 白鳥議員。

○議員（7番 白鳥 法子君） 御回答ありがとうございました。

スクールバスの件については、今後も安全運転に留意していただけたらと思ったところでございます。

もう1点、私が質問を漏らしていたのですが、15ページの御説明の中で、和田郵便局で支所機能を持つにあたって、ファックスで何か資料を送信するための機器の導入というお話があったかと思えます。証明書等の申請や発行業務は、郵便局で完結すると理解していたところですが、電子データではなくファックスを今から導入して使っていく業務とはどういうものが想定されるのか教えてください。

○議長（荒川 政義君） 松村統括総合支所長。

○統括総合支所長（松村 浩君） 白鳥議員の質問ですけれども、ファックスをどのように使うかということですが、郵便局で申請書等を書いていただいて、それを東和総合支所に送るという形でファックスを利用します。

以上です。

○議長（荒川 政義君） 白鳥議員。

○議員（7番 白鳥 法子君） ありがとうございます。郵便局で申請書を書いて、ファックスで総合支所に送って、実際に発行する業務は、一体それはどこが行うことになるのか。多分、今までの御説明の中で、発行できるキオスク端末も設置されているかと思うが、それが使えない場合には、申請書を一々ファックスで送らないと交付ができないということなのか。そのあたりも教えてください。

○議長（荒川 政義君） 松村統括総合支所長。

○統括総合支所長（松村 浩君） 今回の流れを最初から言いますと、今、郵便局で申請書等を受け取って、それを総合支所へファックスします。受け取った総合支所は、そこから必要な戸籍証明書等を郵便局に設置してありますプリンターからプリントアウトして、そのプリントアウトされた戸籍や証明書等を請求者に対して渡して、手数料をいただくという流れになります。

以上です。

○議長（荒川 政義君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） ないようでありますので、質疑を終結します。

議案第2号令和6年度周防大島町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）について、質疑はございませんか。田中議員。

○議員（8番 田中 豊文君） 1点だけ。32ページにシステム使用料31万4,000円というのがありますが、使用料が何で増えるのか、予算額の積算方法とともに御答弁をお願いします。

○議長（荒川 政義君） 中村健康福祉部長。

○健康福祉部長（中村 晴彦君） 田中議員の御質問ですが、もともと国民健康保険団体連合会の方から借りているシステムの中に国保データベース（KDB）システムというのがあるが、これは国民健康保険団体連合会の方から無償で借りているんですが、国保データベース（KDB）システムというのは、結局、国民健康保険団体連合会が作った帳票類とかデータをまとめて表を作ったりとか、そういう国民健康保険団体連合会が作ったものしか使えないというような国保データベース（KDB）システムであったのですが、これに、新たに町側で国民健康保険団体連合会の国保データベース（KDB）システムのデータベースを使って、データの確保や表作成ができ

るようにするシステムを追加するというものでございます。

これについては、既に令和6年4月の段階では国保データベース（KDB）システムが追加されている状態でございます。田中議員が先ほどおっしゃられたように、当初予算から組むべきじゃないかということだったと思うのですが、これは、正直私もそう思っております。ただ、このDHパイロットという新しいシステムが、山口県内に19市町ございますけど、加入する市町が増えれば増えるほど単価が安くなっていくという事情があって、健康増進課レベルでは、もしかしたら、当初より待っていれば、加入する市町が増えて安くなるかもしれないということで、まだ確定してないんだということと、支払いが令和7年2月に発生するというところで、大変申し訳ないのですが、ほぼ確定した状態で補正予算に上げようという判断をしたようでございます。

（「積算方法は」と呼ぶ者あり）

すみません。この積算については、国民健康保険団体連合会が出してきた数字をそのまま出しております。

○議長（荒川 政義君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） ないようでありますので、質疑を終結します。

議案第3号令和6年度周防大島町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）について、質疑はございませんか。田中議員。

○議員（8番 田中 豊文君） 44ページの印刷製本費49万8,000円の内容と、テスト用納付書、この金額の積算根拠と、今回補正が必要になった理由を御答弁ください。

○議長（荒川 政義君） 中村健康福祉部長。

○健康福祉部長（中村 晴彦君） 積算の根拠ですが、これは1社ですが、見積りを業者から取ったものを積算の根拠としております。

今回、どうしても必要になったかということですが、やまぐち自治体クラウド地方公共団体情報システム標準化・共通化移行に伴うもので、テストをする見込みが立ったため、テスト用紙を年度内に発注し、テストをしたいということで、今回、補正に上げております。令和7年3月末までにテストをやりたいということです。

○議長（荒川 政義君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） ないようでありますので、質疑を終結します。

議案第4号令和6年度周防大島町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について、質疑はございませんか。田中議員。

○議員（8番 田中 豊文君） こちらも、56ページに印刷製本費49万8,000円という全

く同額のものがありますが、これは後期高齢者医療特別会計で、先ほど説明のあった経費と同じ内容、補正ということによろしいのかどうか。

それと、同じであれば、その後期高齢者医療分と一括発注ということになるのか。それに基づいた予算なのかどうか、そこを御答弁ください。

○議長（荒川 政義君） 中村健康福祉部長。

○健康福祉部長（中村 晴彦君） 田中議員のおっしゃるように、理由としては全く同じ理由。それから、一括発注するのかという御質問でしたが、一括発注を考えております。

○議長（荒川 政義君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） ないようでありますので、質疑を終結します。

以上で、議案第1号令和6年度周防大島町一般会計補正予算（第5号）から、議案第4号令和6年度周防大島町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）までの質疑を終了いたします。

討論・採決は、会期中の最終日の本会議といたします。

日程第11. 議案第5号

日程第12. 議案第6号

○議長（荒川 政義君） 日程第11、議案第5号周防大島町立保育所設置条例の廃止についてから、日程第12、議案第6号周防大島町水道事業給水条例の廃止についてまでの2議案を一括上程し、これを議題とします。

補足説明を求めます。岡村副町長。

○副町長（岡村 春雄君） それでは、議案第5号及び議案第6号について、一括して補足説明をいたします。

まず、議案第5号周防大島町立保育所設置条例を廃止する条例の制定についてであります。

本案は、令和7年3月末の町立久美保育所の閉所に伴い、周防大島町立保育所設置条例を廃止しようとするものでございます。

久美保育所につきましては、昭和31年6月の開所以来、地域や関係機関の方々の御支援・御協力をいただきながら管理運営を行い、幼児教育の充実を図ってまいりましたが、令和6年6月及び9月の全員協議会において御説明を申し上げましたように、近年の少子化の中で入所児童数が年々減少している現状でございます。

町立保育所の運営につきましては、基準額の倍以上の経費が必要となることや、子どもの出生数の減少、町が基準としております入所園児数を下回ること、また民間でできることは民間にの考え方により、久美保育所を令和6年度末となります令和7年3月末をもって閉所することが適

当ではとの結論に達したものでございます。

次に、議案第6号周防大島町水道事業給水条例の廃止についてであります。

本議案は、柳井地域広域水道企業団への統合による本町水道事業の移管に伴い、周防大島町水道事業給水条例を廃止しようとするものでございます。

柳井地域広域水道企業団への水道事業の統合につきましては、これまでも町議会全員協議会等で御説明をさせていただき、令和6年1月には、柳井市、周防大島町、上関町、田布施町、平生町、田布施・平生水道企業団及び柳井地域広域水道企業団で柳井地域水道事業の統合に関する基本協定を調印し、令和6年9月定例会では、柳井地域の水道事業が経営統合するための柳井地域広域水道企業団規約の一部変更について御承認をいただいたところでございます。

今後は、令和7年4月からの事業開始に向けて各種例規等が整備されていくこととなり、本町における水道事業給水条例も柳井地域広域水道企業団議会で新たに制定されますので、現行の周防大島町水道事業給水条例は、事業開始となります令和7年4月1日をもって廃止しようとするものでございます。

以上が議案第5号及び議案第6号の補足説明であります。

何とぞ慎重なる御審議のうえ、御議決を賜りますようよろしくお願いいたします。

○議長（荒川 政義君） 説明が終わりましたので、これから質疑に入ります。質疑は議案ごとに行います。

議案第5号周防大島町立保育所設置条例の廃止について、質疑はございませんか。田中議員。

○議員（8番 田中 豊文君） 1点だけ。関係住民とのコンセンサスは得られていると思いますが、その辺の確認というのは今後も含めて、例えば記録とかでそういったことは確認できるような状態になっているのかどうか。そこだけ確認させてください。

○議長（荒川 政義君） 中村健康福祉部長。

○健康福祉部長（中村 晴彦君） 関係住民と思われる方、地域の方等に対する閉所についての説明は、既に終わらせているという形で、あとは閉所式に関するその辺の打合せ等をするだけの状態になっていて、全てはもう完了している——そういう調整部分については、ほぼ完了しているのではないかと考えております。（「その記録は取ってあるのか」と呼ぶ者あり）記録は取っております。

○議長（荒川 政義君） ほかに質疑はございませんか。占部議員。

○議員（1番 占部 智子君） 久美保育所の現在の園児の人数を教えてください。

○議長（荒川 政義君） 中村健康福祉部長。

○健康福祉部長（中村 晴彦君） 園児の人数は、現在10名です。

○議長（荒川 政義君） 占部議員。

○議員（1番 占部 智子君） 今回の久美保育所の閉園というのは……（「マスクを取ってしゃべってください」と呼ぶ者あり）久美保育所の閉園というのは、公立保育所の最後の廃止ということで、大変残念です。やはり周防大島町で子育てをと考えている方にとっては、公立保育所は絶対に必要だと考えます。民間の保育所は、その民間の保育所が続けたいと思っても、経済的にやっていけなくなったら運営が困難になって廃止せざるを得なくなると思うのですけれども、ますます周防大島町が子育てしにくい町になるのではないかと危惧しております。どのようにお考えでしょうか。

○議長（荒川 政義君） 暫時休憩します。

午前11時22分休憩

.....

午前11時23分再開

○議長（荒川 政義君） 休憩前に引き続き会議を開きます。中村健康福祉部長。

○健康福祉部長（中村 晴彦君） 占部議員の御質問ですが、こちらでまた資料等をお見せすることができると思います。今は、資料的なものは久美保育所に保管してございますけれども、また後ほどお見せできると思います。

○議長（荒川 政義君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） ないようでありますので、質疑を終結します。

議案第6号周防大島町水道事業給水条例の廃止について、質疑はございませんか。田中議員。

○議員（8番 田中 豊文君） これは、これまで全員協議会とか委員会でも求めてきたことなんですが、柳井地域広域水道企業団に経営統合して、通常の保守とか非常時の対応とか、そういったときの対応が今後どうなるのか、その辺は方針等、どういうふうに令和7年4月までにやっていくのかというところは、これは水道というよりは、町として考えることだと思いますので、その辺の保守は、断水時とか、非常時とか、そういうときに町としてどういうふうに——そこは切り分けて答えていただいたほうがいいのですが、通常のまず維持管理、保守はどうするのか、どういう体制であるのか、柳井に任せっ切りで、それで大丈夫なのか、私は非常に危惧しているのですが、それでやるのか。それで、非常時の対応はどこがどういうふうにやっていくのか。そういう考え、対策を今後取りまとめていくのか、もう既に決まっているのならそこを簡単でも結構なんで、答えていただきたい。令和7年4月1日までにそこを取りまとめて、検討して対策を講じる予定ですよというのであれば、その内容をいつまでに示すのか、その辺の御答弁をお願いできればと思います。

○議長（荒川 政義君） 藤本上下水道部長。

○上下水道部長（藤本 倫夫君） ただいまの御質問ですが、通常の保守点検等につきましては、柳井地域広域水道企業団でそういう部署を設けておりますのでやっていくことになると思います。

それから、通常の漏水等とか、そういうことも含めまして、非常時の初期対応については、どうしても柳井地域広域水道企業団からすぐ来るには若干距離がございますので、簡単な初期対応等については、これまででもできることは、例えば総合支所なりにお願いしてきたところでもあるのですが、こちらにつきましては、町と柳井地域広域水道企業団との協定を交わして、初期対応をお願いできたらと思っております。

簡易的なものはそういうお願いをするのですが、基本的には、例えば大規模災害でありますとか、そういうときには柳井地域広域水道企業団が、これまでの水道事業を担ってきた水道課と同様に対応してまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（荒川 政義君） 中元総務部長。

○総務部長（中元 辰也君） 田中議員の御質問にお答えいたします。

田中議員が言われるように、やはり大規模災害となると、柳井地域広域水道企業団だけの手というとなかなかちょっと難しいところもあろうかと思えます。本町が大規模災害に見舞われた場合とかは、当然のことながら、先ほど町長が所信表明でも申し上げましたとおり、町内では、そういった被害を受けた方といいますか、1人の犠牲者も出さないことを防災の第一と申し上げたとおり、その災害の対応は町として全力であたっていく必要があろうかと思えます。

しかしながら、司令塔としては、柳井地域広域水道企業団が担うことになろうと思えますけれども、やはり災害については、町の組織一丸となって、それに対応していくべきであろうと思っております。

○議長（荒川 政義君） 田中議員。

○議員（8番 田中 豊文君） もうちょっと補足をしていただきたいのですが、通常の保守と大規模災害について分かりました。例えば具体的に言えば、この間のような大島大橋への貨物船衝突事故による断水、結局水道だけの異常が生じたときにどのような、先ほど協定で町の対応は定められるということですが、その協定の内容というのは、町も当然了解のうえで定めるんだろうと思うが、その協定自体の内容をちょっとお示ししていただきたい。私が聞いているのは、例えば、総合支所が全部担うのか、町としてどういう体制で対応していくのか、その辺の方針を教えてください。これから協定で定めるのであれば、それがいつまでに定められるのか、町としての考えもあるでしょうから、町長部局として、今現時点で考えられていることをお示しく願いしました。

○議長（荒川 政義君） 藤本上下水道部長。

○上下水道部長（藤本 倫夫君） まず大規模断水等の対応についてですが、基本的には柳井地域広域水道企業団で対応するようになると思います。柳井地域広域水道企業団だけでは手に余ると言ったらおかしいのですが、対応できない場合は、今度は日本水道協会とか、どんどん大きな組織に依頼をかけていくようになると思います。

やはり先ほども申し上げましたが、通常の維持管理の部分と若干かぶってまいります、初期対応につきましては、町にも御協力をいただくようになると思います。

協定についてでございますが、少し前から、ほぼ最終形に向けて、今協定の内容を煮詰めているところですが、年度内には町と柳井地域広域水道企業団で業務に関することとありますとか、資機材の移管でありますとか、そういうことについて定めまして協定を結んでまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（荒川 政義君） 中元総務部長。

○総務部長（中元 辰也君） 田中議員の御質問にお答えいたします。

今、藤本上下水道部長が答弁したとおりでございますが、実際その協定の防災に関するものについては、まだ、私どももはっきりと目を通しておりません。しかしながら、例えば柳井地域広域水道企業団と町の防災の関係ですので、その部署とやはり連携をして、その防災部局から町の関係部局に命令をしていただくようなイメージが一番いいのかなと、私は今思っております。

ちょっと口下手でなかなか説明が難しいですが、そこはやはり双方の役割をしっかりと明確に決めたいので、町全体で防災対策に取り組むというような形で進めていければと思っております。

○議長（荒川 政義君） 田中議員。

○議員（8番 田中 豊文君） 実情はよく分かりました。私が懸念しているのは、要するにこの間の大島大橋への貨物船衝突による断水のような事故を経験しているわけですから、今度起きたときにあたふたするようなことのないように、あのときも、今もまだここに水道事業を持っているわけですからいいが、今度柳井に行ったら、絶対に手薄になる。そこをどのように町の体制としてカバーしていくのか、そこを知りたかったのですが、令和7年4月までにそこはしっかり検討して、私の言うことは理解していただいていると思うのですが、実際にみんなが経験していることなので、今、その実効性が非常に不安です。どこまで実効性のある対応ができるのか。

先ほど初期対応は役場でというようなこともありましたけれど、実際、どこがどういうふうに動くのか、水道課がいなくなった状況でどういうふうに動いていくのか、その辺が非常に危惧されるので、そこら辺は令和7年4月までにしっかり御検討いただいて、本当は今日その辺の答えをいただきました。今まで散々私が言っていることだけれど、まだそういった漠然とした状況なら、早めにそこは確定して、またお示ししていただけたらと思います。答弁は結構です。

○議長（荒川 政義君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） ないようでありますので、質疑を終結します。

以上で、議案第5号周防大島町立保育所設置条例の廃止についてから、議案第6号周防大島町水道事業給水条例の廃止についてまでの質疑を終了いたします。

討論・採決は、会期中の最終日の本会議といたします。

日程第13. 議案第7号

日程第14. 議案第8号

○議長（荒川 政義君） 日程第13、議案第7号周防大島町行政組織条例等の一部改正についてから、日程第14、議案第8号周防大島町国民健康保険税条例の一部改正についてまでの2議案を一括上程し、これを議題とします。

補足説明を求めます。岡村副町長。

○副町長（岡村 春雄君） それでは、議案第7号及び議案第8号について、一括して補足説明をいたします。

まず、議案第7号周防大島町行政組織条例等の一部改正についてであります。

本議案は、令和7年4月1日に予定しております機構改革について、関連する各種条例を改正しようとするものでございます。

まずは、予定しております機構改革の概要について、御説明いたします。

議案第5号で上程しておりますとおり、令和6年度末をもちまして、町立久美保育所を閉所いたします。

次に、健康福祉部福祉課（たちばなケアプラザ）にこども家庭班を新設します。こども家庭班は、現在、福祉課民生福祉班で所管しております児童福祉業務全般と、健康増進課健康づくり班で所管しております母子保健業務、妊婦、乳幼児健康診査業務を統合し所管することとしており、改正児童福祉法で努力義務化されたこども家庭センターも同班内に設置することとし、現在開設しております子育て世代包括支援センターOhanaも移設することとしております。

次に、産業建設環境部（久賀庁舎）に、地域交通課を新設し、同課に地域交通班を設置いたします。地域交通課は、現在、総務部政策企画課地域振興班で所管しております離島航路業務と、産業建設環境部商工観光課商工観光班で所管する生活交通体系関係業務を統合し、その他の地域公共交通に関する業務も含め所管することとしています。

最後に、議案第6号にも関連いたしますが、柳井地域広域水道企業団への統合による本町水道事業の移管に伴い、上下水道部水道課を廃止し、上下水道部を下水道部に改め、同部を下水道課

の1課体制とし、同課を下水道班と管理班の2班体制にいたします。

それでは、機構改革に伴う関連条例につきまして、新旧対照表により、改正の要点を逐条に沿って御説明をいたします。

第1条は、周防大島町行政組織条例の一部改正規定で、上下水道部を下水道部に改め、産業建設環境部の分掌事務に地域公共交通に関することを追加するものです。

第2条周防大島町情報公開条例、第3条周防大島町職員定数条例、第4条周防大島町職員の定年等に関する条例、第6条周防大島町諸収入金督促手数料及び延滞金徴収並びに滞納処分執行条例、第8条周防大島町水道事業及び下水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例、第9条周防大島町水道事業及び下水道事業行政財産使用料徴収条例、第10条周防大島町債権管理条例、第11条周防大島町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例、第12条周防大島町公共下水道条例、第13条周防大島町農業集落排水処理施設条例、第14条周防大島町漁業集落排水施設条例、第15条周防大島町個人情報の保護に関する法律施行条例、第16条周防大島町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正規定は、水道事業の移管に伴う改正でありまして、水道事業に関する表記を改めるなどしています。

第5条の周防大島町特別会計条例の一部改正は、7つある特別会計のうち、水道事業の移管に伴い周防大島町水道事業特別会計を削り、6つの特別会計にしようとするものでございます。

第7条の周防大島町議会委員会条例の一部改正は、建設環境常任委員会の所管について、水道事業の移管に伴い、上下水道部の所管に関する事項とあるのを、下水道部の所管に関する事項に改めるものでございます。

なお、前段で御説明いたしました機構改革のうち、課や班の分掌事務等に関する規定は、規則等で定めておりますので、本議案を御議決いただきましたら、関連規則等もあわせて改正する予定としております。

参考までに、議案説明資料の7ページに周防大島町行政組織条例施行規則の一部改正後（案）にかかる新旧対照表を掲載しておりますので御参照願いたいと思います。

次に、議案第8号周防大島町国民健康保険税条例の一部改正についてであります。

本議案は、周防大島町の国民健康保険特別会計としましては、平成27年度に税率改定を行うまで、厳しい財政運営が続いておりましたが、平成28年度以降、実質単年度収支で黒字が続いております。令和6年度当初におきまして、国民健康保険基金残高は7億1,000万円と増加しており、保険税率の見直しを検討いたしました。

物価高騰に伴う景気の低迷などによる、被保険者の経済的負担軽減を図る観点からも、令和7年度から国保税率の引下げを行います。これに伴い、周防大島町国民健康保険税条例の一部を改正するものでございます。

このたびの改正点であります。国民健康保険の被保険者にかかる基礎課税額の所得割率の引下げ、被保険者均等割額及び世帯別平等割額の引下げを行うものであり、これに伴い、国民健康保険税の減額につきましても、金額を改定するものであります。

それでは、改正内容につきまして、新旧対照表により御説明をさせていただきます。

24ページ、第3条国民健康保険の被保険者に係る基礎課税額の所得割額についてであります。基礎控除後の総所得金額等に乗じる率を改定するものであります。

24ページ、第5条国民健康保険の被保険者に係る基礎課税額の被保険者均等割額につきましては、被保険者1人についての均等割額を改定するものであります。

24ページ中段から25ページ上段にかけての第5条の2国民健康保険の被保険者に係る基礎課税額の世帯別平等割額につきましては、特定世帯、特定継続世帯、それ以外の世帯の区分に応じて定める平等割額の改定を行うものであります。

25ページ、第23条国民健康保険税の減額についてであります。第5条から第5条の2において改定を行いました被保険者均等割額及び世帯別平等割額におきまして、軽減世帯区分ごとに減額する額の改定を行うものであります。また、未就学児に対する被保険者均等割額につきましても、同様に軽減世帯区分ごとに減額する額を改定するものであります。

以上が、議案第7号及び議案第8号の補足説明であります。

何とぞ慎重なる御審議のうえ、御議決を賜りますようお願いいたします。

○議長（荒川 政義君） 説明が終わりましたので、これから質疑に入ります。質疑は議案ごとに行います。

議案第7号周防大島町行政組織条例等の一部改正について、質疑はございませんか。田中議員。

○議員（8番 田中 豊文君） 地域交通課が設置されるというのは歓迎されますけれど、下水道部、これが要するに1部1課ということになって、産業建設環境部と比べても非常にバランスが悪いというか、そもそもこの1部1課、下水道部を設置することにどういう意味があるのか。具体的に部長の役割というのは何なのか。その辺も含めて御説明いただきたいと思っております。

○議長（荒川 政義君） 中元総務部長。

○総務部長（中元 辰也君） 田中議員の御質問にお答えいたします。

1部1課についての意義というか、なぜそれをするのかという御質問だと思います。

下水道課については、やはり事業会計が一般会計とはちょっと異なっております。そういった理由もありますし、職員の処遇というか、例えば1部長1課長そして班長という組織の中で動いていくのか、また兼務という選択肢もある中において、現時点で、その組織の中の職責というか、職は、現時点でまだ決めておりませんので、中の役職については、今後さらに煮詰めていって、一番ふさわしい体制にしていきたいと思っております。

○議長（荒川 政義君） 田中議員。

○議員（8番 田中 豊文君） よく分かりませんが、今役職は、また今後検討するということなので、単純に考えて、部長と課長を兼務ということもあり得るのかどうか。

要するに私が言いたいのは、産業建設環境部商工観光課商工観光班から生活交通体系関係業務を抜いて地域交通課地域交通班を設置する。商工観光課が産業建設環境部にあったから、そのまま産業建設環境部に入れたというように見えるのですが、組織改正というか、機構改革はそうではなく、やはり地域交通は、非常に最重要課題と言ってもいいぐらいいろんな分野に関わってくることなので、やはりそこは短絡的と言ったら御無礼なのかもしれませんが、地域交通部でもいいぐらいの課題で、どちらかと言えば、産業建設環境部よりは、そういった企画部門、そういったことに関係していることが課題だと思いますので、例えば企画部を新しくつくとか、そうした組織改革なら理解できるのですが、単に産業建設環境部にあったから、地域交通課を産業建設環境部に入れて、産業建設環境部長が5つの課を所管する。それはいいと思う。部長制度がどうかというのもあるけれど、その5つの課の連携を図るために部長がいる、対外的なこともあるでしょう。

一方で、下水道部については下水道課だけで、下水道課長が下水道部長の仕事もやればいいのかと思うのですが、部長ならではの役割というのが何かあるなら、そこを具体的に教えていただきたいというのが先ほどの質問だった。それと、今言ったように短絡的に新しく設置して組み合わせじゃなくて、ちゃんと政策に合った、そういう機構改革をすべきではないのか。

基本的に今、合併時の20年前の組織が、多少の改変はあるけれどそのまま来ているわけです。そうではなくて、時代に合わせた抜本的な機構改革が必要なときではないかなと思うのですが、その辺についての御説明と今後どのようにしていこうと考えられているのか。その辺の御答弁をお願いします。

○議長（荒川 政義君） 梅木総務課長。

○総務課長（梅木 義弘君） ただいま田中議員から御質問をいただきました。まず、地域交通課を短絡的に産業建設環境部に設置したのではないかと思われてしまったことについての答弁をさせていただきます。

今回の機構改革につきましては、まず、田中議員がおっしゃられるとおり、地域交通課を新たに設けるとするのが一番大きな改革の目玉になっています。それをどこに設置するかということについては、当然ながら庁内で協議がありました。総務部に持ってくるのがいいのではないかと。新たな部を設けて設置するほうがいいのではないのかというところも協議の議題にはあがりませんでした。

ただ、現状の庁舎のキャパシティ等も、実際に機構を考えるうえで、考えざるを得ないという

ところの中で、今、当面というか、現状の庁舎のキャパシティの中で考えると、新たな課を設置できる場所は産業建設環境部ではないかという意見も出まして、その辺の全体的な意見の調整をする中で、産業建設環境部に地域交通課を置く。なおかつ地域公共交通というところで、住民生活に密着する問題であり、観光等にも密着する問題もあるというところから、現行は商工観光課がある産業建設環境部に置いておくことも、一定程度の目的を達成するための一つの施策になるというところも考えたうえで、産業建設環境部に設けておりますので、御理解をいただけたらと思います。

それから、下水道部下水道課で部長が課長を兼務する可能性があるのかという御質問もありましたが、可能性としてはあるという御回答をさせていただきたいと思います。実際どうなるかはまだ分かりませんが、可能性はあると思っております。

以上です。

○議長（荒川 政義君） 白鳥議員。

○議員（7番 白鳥 法子君） 今回の機構改革について、私も大変期待をしているところでございますが、健康福祉部の中で福祉課と健康増進課の配置替えというか、人員の調整というものも出てくるのではないかと思います。そのあたりの職員の増減、また、地域交通課と政策企画課の中の離島航路部分での職員の増減など、既に計画がある程度決まっているのかどうかお尋ねします。

また、私も一般質問でも要望に近い質問をさせていただきましたけれど、福祉課に新たにこども家庭班ができて、待望のこども家庭センターと子育て世代包括支援センターOhanaが内包されるという形になっていますけれども、そうなったときに、保健師の人数が足りるのかどうか、今後、町全体として増員されるおつもりがあるのかどうかを伺います。

また、こちらの専門の班ができるということは大変期待したいところではございますが、これまでの子育て支援体制と具体的に何が変わるのか。努力義務化されているこども家庭センターにつきまして、国が示している状態での役割というものは、私も把握しているつもりであります。周防大島町という環境の中で、町としてはどのようなビジョンを持ってこちらの体制で、具体的に何をどうこれまでよりも充実させていこうと考えているのか、この部分について、できれば町長の思いを伺いたいと思っております。

以上です。

○議長（荒川 政義君） 中元総務部長。

○総務部長（中元 辰也君） 白鳥議員からの御質問、町としてのビジョンについては、後ほど町長が答弁をいたしますが、私からは保健師等の配置についてでございます。

これは職員の人事のことでございますので、なかなかこの場で申し上げることは難しいと思

ますが、町としては、保健師の採用については、今までも積極的に募集をかけております。令和7年4月採用についても募集をかけて実施をしているところでございます。

職員の配置については、これもやはり全体的な人事のことに關しますので、具体的にその部に何名を配置するということを現時点で申し上げることは難しいと思っておりますけれど、やはり例えばこども家庭センターにおいては、決められた役職というものが明記されております。国が示したものがございまして、それに準じた形で、できる限りの体制を構築していきたいと思っております。

当然もう1方の地域交通課においても、現在、産業建設環境部商工観光課で所管している事務と、総務部政策企画課が所管している事務を総合的に見たうえで、適切な人員を配置したいと考えております。

○議長（荒川 政義君） 藤本町長。

○町長（藤本 浄孝君） 白鳥議員から御質問いただいた内容の機構改革において、福祉課にこども家庭班を新たにつくるということでありまして。従来では、橘地区安下庄のたちばなケアプラザに健康福祉部福祉課があつて、そして、日良居庁舎に、子育て世代包括支援センターOhanaがあつたということでありまして。

私も子育てをしている世代といたしまして、保育園のことであつたり、福祉のことは、橘地区安下庄のたちばなケアプラザで行われている。そしてまた、健診であつたり、予防接種であつたり、また健康相談であつたり、そういったことは日良居庁舎で行われている。このどちらに行つたらいいのかということもありました。これが1つになればいいのということ、子育てをされている周防大島町の皆さんが求めておられることは、私も感じておりました。

国の方針でこども家庭センターを設置し1つにするという方針があつたわけではございますけれども、これを1つにするということは、この周防大島町の子育て環境をつくるうえでも、よいことだと認識しております。

よつて、1つにするうえで、白鳥議員がおっしゃつたように、保健師は足りるのですかとか、そういった問題があると思うのですが、やはり子育て環境を充実させるということを考えていくうえで、必要な人材はしっかりと育成をしていかないといけないと思つて、それはまた採用につながる、必要があればそのような体制も取つていく必要があると思つております。

何より、子育てをする家庭において、子供を育てるにあつて、いろんな健診に行つたり、予防接種に行つたり、いろんな相談があつたり、保護者同士のつながりであつたり、また、それこそ健診がずっと続いたりということがあります。そういったことを町でもしっかりと後ろから支援できるような形をつくっていくことが、この周防大島町の人口減少という地域課題に向かつていく方法だと思つておりますので、また引き続き、皆さんの御理解をいただきながら進めてまいり

たいと思っております。

○議長（荒川 政義君） 白鳥議員。

○議員（7番 白鳥 法子君） 御答弁ありがとうございました。

町長の御説明の中で、1番は今まで2つの庁舎に分かれていたものが1つになれば便利になるし、効率的だということはもちろん分かりました。また、新たなことで何が始まるのかは分からなかったのですが、必要な人材育成や採用も検討していくことになるということと、また、何よりも、子育て家庭に切れ目のない支援を町でしっかりできるようにということが、本来一緒になって便利になるというよりは、本来の目的としては、切れ目のない支援が、本当の目的なのかなと伺ったところでございます。

既存の事業以外に、こども家庭センターが立ち上がる、1つになるということももちろんそうなのですが、こども家庭センターが立ち上がることで、新たに施策なども今後検討されていくという理解でよろしいのかどうなのか、御答弁よろしくをお願いします。

○議長（荒川 政義君） 藤本町長。

○町長（藤本 浄孝君） 先ほど御答弁をさせていただいたとおり、また、白鳥議員がおっしゃられたとおり、子育て支援が1つになることによって、切れ目のない支援ができるようになるということでもあります。

そして、今まで部署として分かれていたところがありましたけれども、これをオール周防大島で子育てをしていくという中で、やはりいろんな提案が生まれてくればいいなと思っています。もっとこういう仕組みをつくっていけば子育てにもっと役立つのではないかな。そしてまた、いろんな目線で、部署関係なく意見を持ち寄って子育てのためにこういったことができるということ而努力していく、そういった部署を目指してまいりたいと思っております。

○議長（荒川 政義君） 白鳥議員。

○議員（7番 白鳥 法子君） 期待の持てる御答弁を大変うれしく思います。ありがとうございます。

今、こちらの健康福祉部だけではなく、オール周防大島で子育てのためにこういうことができるのではというような、新たないろんな視点での提案が生まれてくることを期待するという町長からのメッセージもございました。ぜひこれまでもですし、これからは特に切れ目のないお付き合いというものを職員の方々と、子育て世帯の方々がつながっていくことになろうかと思っておりますので、そういった現場の声というものは、実際に対面で働かれている職員の方が気づくことが特に多いのではないかと思いますので、職員の方々からの提案の声というものが積極的にあがり、次の施策につながっていくような取り組みも期待したいです。

以上で終わります。

○議長（荒川 政義君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） ないようでありますので、質疑を終結します。

暫時休憩します。

午後 0 時 05 分休憩

.....

午後 1 時 00 分再開

○議長（荒川 政義君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議案第 8 号周防大島町国民健康保険税条例の一部改正について、質疑はございませんか。田中議員。

○議員（8 番 田中 豊文君） 1 点だけ教えてください。今回税率が下がるということでちょっと印象としては意外なのですが、この水準というか、今回の改定の水準というのは何年間ぐらい維持される計画で、今回下がるのか。繰入額とか、そういうのは同等の水準でいったうえでのこの引下げということなのか。ちょっと全体というか、長期的な視点でどういう方向性なのかを教えてください。いただければと思います。

○議長（荒川 政義君） 宮崎税務課長。

○税務課長（宮崎由紀子君） 田中議員の質問にお答えします。

今回の税率改定にあたりましては、いろんなシミュレーションを行った結果、今回の医療基礎控除分のみでの改定を行ったところですが、税額で考えたときには、前年度と比較をすると 4,000 万円ぐらいの減になるのではないかとわれ、あと国民健康保険特別会計の収支でいうと 5,000 万円程度の減となる見込みというのを算出しております。それを考えたときに、今ある国民健康保険基金の残を考えて、毎年 5,000 万円赤字が出たと仮定した場合、10 年間程度は大丈夫というか、基金を崩して安定的な財政運営ができると試算しております。

以上です。

○議長（荒川 政義君） ほかにございませんか。白鳥議員。

○議員（7 番 白鳥 法子君） 私も大変国民健康保険税に苦しんでいる住民の 1 人だったので大変ありがたい案だと思っておりますが、国民健康保険税につきましては、市町ごとに税率が設定されているところですが、現在、国の方針で、都道府県内で保険料水準を統一していこうという動きがあると伺っております。

今回の改正は、その動きも踏まえての改正と捉えていいのかどうか。また、その場合、山口県での統一に向けた現状の動向があれば、簡単に教えていただけたらと思います。

また、国民健康保険運営協議会に諮問を行い、税率改正の答申を受けたと、さきの御説明の中

でございましたけれども、こちらの諮問はいつ開催の協議会で行われたのか。まだ議事録や関係資料などは公表されていない状況ですので、協議会の中でどのような議論が行われたのか教えていただくと、次の質問につなげやすいと思っております。

また、本日は質疑のみで、採決はまた後日となりますが、少なくとも諮問の議案と答申にかかる資料を我々にも共有いただくことができるかどうか、こちらをあわせて御回答をよろしく願います。

○議長（荒川 政義君） 宮崎税務課長。

○税務課長（宮崎由紀子君） 白鳥議員の質問にお答えいたします。

確かに山口県から標準保険税率というのを毎年公表されております。今回、周防大島町の改定は、いわゆる医療分の所得割率と均等割、平等割を引き下げるところですが、標準保険税率は、実際のところ介護分や後期支援分の均等割が、若干今の周防大島町の税率よりも高く設定されております。いずれは統一されるということにはなろうかと思いますが、まずは、標準保険税率よりも、現在の周防大島町の所得割率がかなり高く設定されておりますので、物価高騰等の影響を鑑みて所得割率を下げようというところを今回は主に改定しました。

標準保険税率に全部合わせてしまうと、やはりその世帯の状況によっては、確かに現行の税額よりも増額されるという世帯も発生します。そういうところも検討いたしまして、全ての世帯の方が、前年度と比較して減額となることを前提に今回の税率を考えました。

それから、標準保険税率の県の統一というのは、県から第2期国民健康保険運営方針が出ていますけれども、そういうところで見ると、まず納付金ベースでの統一を令和12年までに行いたいということで、保険税率の統一というのは、令和15年をめどにということもうたわれておりますが、まだ県も、今からいろいろとその日程は詰めていくのではないかと考えております。

国民健康保険運営協議会へ今回諮問をしましたが、国民健康保険運営協議会は、令和6年11月7日に開催をしております。

国民健康保険運営協議会での議事録等の件については、担当課から、説明、回答をさせていただければと思います。

以上です。

○議長（荒川 政義君） 中村健康福祉部長。

○健康福祉部長（中村 晴彦君） 国民健康保険運営協議会の議事録の公表とか、今回資料も含めてだと思っておりますが、まず議事録の公表は、本来であれば、この議案が上がる前に出ているのがよかったのだと思うのですが、議事録自体の公表を今考えているのは、例年どおり令和7年1月中旬から令和7年1月20日ぐらいまでの間に公表するという形になるかと思っております。いろいろと手続の関係上、そのようになることは、申し訳ないのですが、御了承ください。

それから、どういう議論がされたかということなのですが、実をいいますと、資料で説明した後に質問を求めましたが、全く質問はなかった。恐らくそれ以前の国民健康保険運営協議会の中で、基金がかなり積み上がってきているのに、これを還元することはないのかという話が、2、3年前からあったのですが、やっと町でめどがついたので、10年程度は5,000万円ずつ基金を取り崩すことで、今回決めた保険料でやっていけるめどがつき、町がこういう諮問をしたから、恐らく何の意見も出されずに、良いと感じたのではないかなと想像しております。

それからそもそも議事録を公表する際に、国民健康保険運営協議会を出している資料というのは、公表していなかったのですが、その辺の公表については、前向きに検討したいと思っております。

資料提供は、この議会で皆さんにということですか。（「諮問と答申の部分について見せていただけたらということ」と呼ぶ者あり）資料提供というのは皆さんにではなくて（「皆さんに、諮問と答申について、関係資料」と呼ぶ者あり）諮問したときの資料ですね。それは今まで公表してなかった。その辺、政務資料的なことで公表できるのかどうなのかを検討させていただきたいと思います。私が個人的に思うのは、見ていただいた後、回収するのであればできるのかなと思いますけれど、その辺少し検討させていただいて、議会の最終日までに回答させていただくということをお願いできたらと思う。

○議長（荒川 政義君） 暫時休憩します。

午後1時11分休憩

.....

午後1時13分再開

○議長（荒川 政義君） 休憩前に引き続き会議を開きます。白鳥議員。

○議員（7番 白鳥 法子君） 御説明ありがとうございました。平成27年度に税率が引き上げられてから、10年ぶりぐらいの改定になろうかと思っておりますけれども、今後このぐらい下げても10年ぐらいは基金も持つだろうという試算をされての今回の税率と理解したのですけれども、後期高齢者医療保険制度などは2年に1回など、状況に応じて見直しがされているかと思うのですが、国民健康保険の税率についても、例えば何年かに1回ぐらいは状況を見ながら見直すといったようなことを今後は想定されるのかどうか、現時点であれば、教えてください。

○議長（荒川 政義君） 宮崎税務課長。

○税務課長（宮崎由紀子君） 白鳥議員の質問にお答えいたします。

現行の税率は平成27年度に改定を行って以降、現在に至っておるところでございますが、今回の改定につきましては、医療分のみを引き下げるといって改定になっておりますので、今後は国民健康保険財政の状況等を見ながら、今計画しているところでは、3年をめどに見直しを行って

いくことを予定しております。

○議長（荒川 政義君） ほかに質疑はございませんか。山根議員。

○議員（3番 山根 耕治君） 今回の国民健康保険税の税率の見直し、私も委員会等々でいろいろとお話をさせていただいて、大変ありがたいことだと思っております。

ただ、今回いろいろと税率などが出ていまして、数字はいろいろ出ているのですけれども、実際に具体的に一般的な家庭でどれぐらいの減税になるのか、いろいろシミュレーションをされたということですので、そのところがちょっと分かりにくいので、出せるものがあれば一般的な家庭でこれぐらいの減税になりますということを、お示しいただければと思います。お願いします。

○議長（荒川 政義君） 宮崎税務課長。

○税務課長（宮崎由紀子君） 山根議員の質問にお答えいたします。

今回の改定では、改正後の税率によって、世帯構成や所得金額などからモデルケースを想定して、シミュレーションを行いました。そのシミュレーションの結果から申し上げますと、一例になりますけれども、夫婦と子供2人の世帯で、仮に所得が300万円あるというケースの場合では、改定後の税額で申し上げますと3万3,000円程度の減額ということになりました。

今回の改定では、軽減世帯におきましても、税額は減額になるようにシミュレーションを行いました。一応参考までに増減率で申し上げますと、世帯構成などにより幅はありますけれども、5%から7%の減額になると考えております。こちらの数字等は、あくまでモデルケースによるシミュレーションの数字となっておりますことを御了承いただければと思います。

○議長（荒川 政義君） 山根議員。

○議員（3番 山根 耕治君） ありがとうございます。5%から7%程度の減額ということで、もちろんそれぞれの世帯ですとか、個々人によって額が変わってくると思うのですが、私が想像していたよりも、大きい減額になるなと思いました。ぜひこうやって、住民の生活に寄り添った、そういった施策をこれからもお願いできればと思っております。私からは以上です。

○議長（荒川 政義君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） ないようであります。

ここで町長から先ほどの答弁で訂正の申出がございますので、これを許します。藤本町長。

○町長（藤本 浄孝君） 先ほど議案第7号周防大島町行政組織条例等の一部改正についてのところで、白鳥議員から御質問いただいた答弁について訂正をさせていただきたいと思っております。

このこども家庭班で予防接種も一緒にということで答弁をさせていただいたところであるのですが、この予防接種は、全年齢を対象にするということでもありますので、従来どおり、健康増進

課で予防接種は行っていくということでございます。いずれにいたしましても継続した子育て支援をということで努めてまいりたいと思います。訂正させていただきます。

○議長（荒川 政義君） それでは、質疑を終結します。

以上で議案第7号周防大島町行政組織条例等の一部改正についてから、議案第8号周防大島町国民健康保険税条例の一部改正についての質疑を終了いたします。

討論・採決は会期中の最終日の本会議といたします。

日程第15. 議案第9号

○議長（荒川 政義君） 日程第15、議案第9号周防大島町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定についてを議題とします。

補足説明を求めます。岡村副町長。

○副町長（岡村 春雄君） 議案第9号周防大島町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について議会の議決を求めることの補足説明をいたします。

本議案は、地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する法律（平成13年法律第120号）第3条第1項の規定により周防大島町の特定事務を委託するため、同法第3条第3項の規定のとおり、次の郵便局を指定することについて議会の議決を求めるものでございます。

それでは、指定する郵便局、取り扱う事務等について、御説明させていただきます。

まず、1で指定する郵便局は、周防大島町大字和田1079番地3に所在する和田郵便局です。

次に、2の取扱事務の範囲ですが、第1では戸籍法に基づく戸籍、除籍の謄本及び抄本並びに戸籍に記載した事項に関する証明。

第2では地方税の規定に基づく納税証明。

第3では住民基本台帳法に基づく住民票の写し若しくは住民票記載事項証明または除票の写し若しくは除票記載事項証明。

第4では住民基本台帳法に基づく戸籍の附票の写しまたは戸籍の附票の除票の写し。

最後の第5では町長が作成する印鑑に関する証明。

以上の証明書の請求の受付、引き渡しを行うものでございます。

なお、取扱期間でございますが、令和7年4月1日から令和8年3月31日までとし、満了3か月前までに廃止する旨の意思表示をしない場合は、1年間延長するものでございます。

以上が議案第9号の補足説明でございます。

何とぞ慎重なる御審議のうえ、御議決を賜りますようよろしくお願いいたします。

○議長（荒川 政義君） 説明が終わりましたので、これから質疑に入ります。質疑はございませんか。田中議員。

○議員（8番 田中 豊文君） 地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する法律第3条第1項では、その人的構成に照らして、取扱う事務を適正かつ確実に実施することができる知識及び能力を有していることと定められておりますけれど、これは、こういった指標、評価によって、この郵便局がこの知識、能力を有しているということを認めたのか。それが第三者にも客観的に証明できるのかどうなのか、そこを御説明ください。

この和田郵便局、今現行で何名体制の職員で、この指定後は何名になるのか、変わらないのかもしれませんけれど、そこを御説明ください。

和田郵便局を指定することについて、町側の何か規定というか、要綱なりを定める必要があるのではないかと思うのですが、その辺はどうなるのか。もう1つは、出張所との関係、今後の方向性ですが、現状、郵便局で事務を取扱うということは分かるのですが、この戸籍とか印鑑証明とか、そういった事務以外の一般の総合支所や出張所の窓口業務、これは、和田出張所がそのまま残るのならば問題ないのかもしれませんが、廃止ということであれば、その辺の窓口業務はどうなっていくのか、その辺も含めて御答弁をお願いします。

○議長（荒川 政義君） 松村統括総合支所長。

○統括総合支所長（松村 浩君） 田中議員の質問ですが、まず1点目が、事務ができる体制にあるかどうかということですが、これは、総務省令で施設及び設備を備えていることと決まっていますので、それに合わせて町でそういった機器に関しては処理していきます。その後そういったものの使い方等は研修等を行ううえで行っていきます。

次に、郵便局の体制ですが、現状は2名体制になっております。

また、次の要綱等は今のところ設置は考えておりません。

和田出張所は今後どうなるのかは、令和6年10月から法律で規定する以外の出張所における窓口業務の一部は、既に和田郵便局で行っております。

この議案が通りましたら、ほぼ現在行っています和田出張所の業務が郵便局で行えますので、和田出張所については閉鎖も考えて事務を進めていきたいと考えております。

以上です。

○議長（荒川 政義君） 田中議員。

○議員（8番 田中 豊文君） 質疑が多かったので伝わってないのかもしれませんが、まず、現行の2名体制というのは分かったのですが、これが指定された後は何名体制なのかというのを聞きしたのですが、そこを御答弁ください。変わらなければ変わらないで結構です。

地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する法律第3条第1項の規定は、知識及び能力を有していることとあるが、これをどう評価するのか客観的に、そこを聞いたのですが、機器が備わっていることと、研修をするから大丈夫みたいな御答弁だったと思うが、こうして法

律で知識、能力を有していることと、あえて定められているのですから、これは何らかの方法で、例えば、法律の中で機器が備わっていることでこの知識、能力を有していると認められるというのがあれば、その法律と条文を紹介して御答弁いただきたいと思います。この法律を読むだけであったら、実施主体、町として、そこら辺の客観的に説明できる資料がないと、この法律に適合しているかどうかというのは説明できないのではないかなと思うが、その辺をもう1回御答弁お願いします。

それと、戸籍等以外の窓口業務は既に行っているということだったが、それはいつどういう方法で、どういう手続に基づいて郵便局がやっているのか、その御答弁をお願いします。

○議長（荒川 政義君） 松村統括総合支所長。

○統括総合支所長（松村 浩君） 今後の郵便局の体制については、現状と変わらないと考えておりますが、もう1度この辺は確認させていただきたいと思います。

評価についてですが、総務省令で定める施設及び設備を備えていることと、先ほど申し上げましたように、それについての研修等を行うことでそれを満足させると、私どもは考えております。

法律以外の窓口については、令和6年10月1日から委託契約を結びまして、法律に載っていません窓口業務の一部を委託しております。

どんなものがあるかと申しますと、今やっているのは、令和6年10月にあったのがごみ袋の販売だけですが、そういったものがあります。

以上です。

○議長（荒川 政義君） 田中議員。

○議員（8番 田中 豊文君） 指定後の体制も2名、現状と変わらないと思うということでしたが、きちんとそこが確定していないというのは、法律で定める知識、能力を有しているということと以前の問題ではないかと思うのですが、それは早急に、これを議会にかける前に決めて、郵便局にどういう体制でやるのですかと確認して、2名だからいけないというわけではない。2名であれば、この増えた事務をどのようにやっていくのか、2名で大丈夫というのを町として確認しなければ、指定できないのではないかと思う。それと知識及び能力を有していることの評価を、機器と研修で満足できると町は判断したということで、それはそれでいいが、町が判断して、それは別に客観的指標とか記録とかそういうのはなくても、この法律上に規定する知識、能力を有していることを満足するというのが言えるのか。要するに、そこは、結局曖昧になるわけです。誰がどう評価したのか、判断したのかというのが分からないまま、確実に実施することができる知識、能力を有していることとあえて法律上規定してあるのですから、そこはやはり曖昧なことではいけないと思うが、先程の答弁で、要綱も定める考えはないと、戸籍とかを扱うのだから、町から手が切れて、郵便局の話ですということではないと思う。そこが、現時点で非常に何か、

指定することもどういう基準によって、どういう評価をして指定するのかというところの判断が客観的に説明できないようでは、この指定ということ自体が難しいと思うのですが、もう1回、何かそこを補足できるような答弁があればしていただきたいと思います。

○議長（荒川 政義君） 暫時休憩します。

午後1時33分休憩

.....

午後1時36分再開

○議長（荒川 政義君） 休憩前に引き続き会議を開きます。松村統括総合支所長。

○統括総合支所長（松村 浩君） 郵便局の職員の資質の関係だと思うのですが、国ではこの委託を推奨しておりますし、郵便局の職員につきましても、既にそういった能力を有していると判断しております。また、今のところ要綱等をつくっておりませんが、マニュアル等は既に作っておりますので、それを活用していきたいと思います。

以上です。

○議長（荒川 政義君） ほかに質疑はございませんか。占部議員。

○議員（1番 占部 智子君） 郵便局も民間なので、この先いつどうなるか分からないので、今回この問題についてはもう進んでいると思われるので、これを元に戻すことはできないと思うのですが、今後こういうことをまた郵便局に依頼するというときは、ぜひ考えていただけたらと思います。

○議長（荒川 政義君） 暫時休憩します。

午後1時37分休憩

.....

午後1時38分再開

○議長（荒川 政義君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） ないようでありますので、質疑を終結します。

討論・採決は、会期中の最終日の本会議といたします。

----- . ----- . -----

日程第16. 周防大島町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

○議長（荒川 政義君） 日程第16、周防大島町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を議題とします。

本選挙は、地方自治法第182条第1項の規定により、本日提案するものであります。

御承知のとおり、選挙管理委員は、地方自治法第181条第2項及び第183条第1項の規定により、4名をもって組織され、任期は4年であります。

なお、補充員についても、地方自治法第182条第2項の規定により、委員と同数の4名を選挙することになっています。

この補充員は委員に欠員が生じた場合、あらかじめ決められた順番により補充されることになっております。

これより周防大島町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行います。

お諮りいたします。選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定により指名推選にしたいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） 異議なしと認めます。したがって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定しました。

お諮りします。指名の方法については、議長が指名することにしたいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） 異議なしと認めます。よって、議長が指名することに決定しました。

それでは指名をいたします。

周防大島町選挙管理委員会委員に、星出明氏、前崎浩二氏、川本卓氏、阿部仁志氏、以上の4名を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名しました4名を地方自治法第118条第3項の規定により、周防大島町選挙管理委員会委員の当選人と定めることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） 異議なしと認めます。よって、ただいま指名のとおり、周防大島町選挙管理委員会委員に、星出明氏、前崎浩二氏、川本卓氏、阿部仁志氏、以上の4名が当選されました。

続きまして、周防大島町選挙管理委員の補充員について、藤本幸一氏、淵上眞治氏、西本芳隆氏、林輝昭氏、以上の4名を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名しました4名を地方自治法第118条第3項の規定により、周防大島町選挙管理委員会委員補充員の当選人と定めることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） 異議なしと認めます。よって、ただいま指名のとおり、周防大島町選挙管理委員会委員補充員に、藤本幸一氏、淵上眞治氏、西本芳隆氏、林輝昭氏、以上の4名が当選

されました。

次に、補充員の順序について、お諮りします。補充員の順序は、ただいま指名しました順序にしたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） 異議なしと認めます。したがって、補充員の順序は、ただいま指名しました順序に決定をいたしました。

なお、当選人に対する告知につきましては、会議規則第33条第2項の規定により、議長より当選人に告知をいたします。

日程第17. 岩国基地関連対策特別委員会の設置について

○議長（荒川 政義君） 日程第17、岩国基地関連対策特別委員会の設置についてを議題とします。

お諮りします。本案については、お手元に配付のとおり、委員会条例第5条の規定により、7名の委員で構成する岩国基地関連対策特別委員会を設置し、米軍岩国基地が存在し、米軍再編の状況によっては、本町の住民生活環境への影響がどのように想定されるのか、また、住民負担の軽減と安心安全をどう確保していくのか、岩国基地関連の対策について、関係機関との連携、情報交換を通して、最良策を検討することについての調査・研究について、これに付託のうえ、期間は令和6年12月3日から令和8年12月2日までとし、閉会中の継続審査とすることにしたと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） 異議なしと認めます。よって、本案については、7名の委員で構成する岩国基地関連対策特別委員会を設置し、米軍岩国基地が存在し、米軍再編の状況によっては、本町の住民生活環境への影響がどのように想定されるのか、また、住民の負担の軽減と安心・安全をどう確保していくのか、岩国基地関連の対策について、関係機関との連携、情報交換をとおして、最良策を検討することについての調査・研究について、これに付託のうえ、期間は令和6年12月3日から令和8年12月2日までとし、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

お諮りいたします。ただいま設置されました、岩国基地関連対策特別委員会の委員の選任については、委員会条例第7条第4項の規定により、山根耕治議員、栄本忠嗣議員、岡崎裕一議員、新田健介議員、吉村忍議員、小田貞利議員、荒川政義議員、以上の7名を指名したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） 異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました7名の議員を

岩国基地関連対策特別委員会委員に選任することに決定をいたしました。

それでは、直ちに岩国基地関連対策特別委員会の正・副委員長の互選をお願いいたします。

暫時休憩いたします。

午後 1 時44分休憩

.....

午後 1 時52分再開

○議長（荒川 政義君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

岩国基地関連対策特別委員会の正・副委員長が報告されております。

委員長、吉村忍議員、副委員長、栄本忠嗣議員が互選をされました。よろしくをお願いいたします。（拍手）

日程第 1 8. 地域活性化・害獣・防災対策特別委員会の設置について

○議長（荒川 政義君） 日程第 1 8、地域活性化・害獣・防災対策特別委員会の設置についてを議題とします。

お諮りいたします。本案については、お手元に配付のとおり、委員会条例第 5 条の規定により、7 名の委員で構成する地域活性化・害獣・防災対策特別委員会を設置し、地域資源を活用した人口定住を推進するとともに、住み続けられるまちづくり、住み続けたいまちづくりの原動力となる地域コミュニティの構築を図る。また、害獣による被害の拡大を抑制し、加えて、近年多発する自然災害に日頃から備えるため、町内全域として、あるいは地域としてどのように取り組んでいくべきかの調査・研究について、これに付託のうえ、期間は令和 6 年 1 2 月 3 日から令和 8 年 1 2 月 2 日までとし、閉会中の継続審査とすることにしたいと思っております。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） 異議なしと認めます。よって、本案については、7 名の委員で構成する地域活性化・害獣・防災対策特別委員会を設置し、地域資源を活用した人口定住を推進するとともに、住み続けられるまちづくり、住み続けたいまちづくりの原動力となる地域コミュニティの構築を図る。また、害獣による被害の拡大を抑制し、加えて、近年多発する自然災害に日頃から備えるため、町内全域として、あるいは地域としてどのように取り組んでいくべきかの調査・研究について、これに付託のうえ、期間は令和 6 年 1 2 月 3 日から令和 8 年 1 2 月 2 日までとし、閉会中の継続審査とすることに決定いたしました。

お諮りいたします。ただいま設置されました地域活性化・害獣・防災対策特別委員会の委員の選任については、委員会条例第 7 条第 4 項の規定により、占部智子議員、山根耕治議員、岡崎裕一議員、山中正樹議員、白鳥法子議員、久保雅己議員、尾元武議員、以上の 7 名を指名したいと

思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） 異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました7名の議員を、地域活性化・害獣・防災対策特別委員会委員に選任することに決定しました。

それでは、直ちに地域活性化・害獣・防災対策特別委員会の正・副委員長の互選をお願いいたします。

暫時休憩をいたします。

午後1時55分休憩

午後2時01分再開

○議長（荒川 政義君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

地域活性化・害獣・防災対策特別委員会の正・副委員長が報告されております。

委員長、山中正樹議員、副委員長、岡崎裕一議員が互選されました。よろしく願います。（拍手）

日程第19. 議会広報編集特別委員会の設置について

○議長（荒川 政義君） 日程第19、議会広報編集特別委員会の設置についてを議題とします。

お諮りします。本案については、お手元に配付のとおり、委員会条例第5条の規定により、6人の委員で構成する議会広報編集特別委員会を設置し、議会広報の編集発行について、これに付託のうえ、期間は令和6年12月3日から令和8年12月2日までとし、閉会中の継続審査とすることにしたいと思っております。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） 異議なしと認めます。よって、本案については、6人の委員で構成する議会広報編集特別委員会を設置し、議会広報の編集発行について、これに付託のうえ、期間は令和6年12月3日から令和8年12月2日までとし、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

お諮りいたします。ただいま設置されました議会広報編集特別委員会の委員の選任については、委員会条例第7条第4項の規定により、浅原賢潤議員、栄本忠嗣議員、岡崎裕一議員、白鳥法子議員、新田健介議員、吉村忍議員、以上の6名を指名したいと思っております。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） 異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました6名の議員を、議会広報編集特別委員会委員に選任することに決定しました。

それでは、直ちに議会広報編集特別委員会の正・副委員長の互選をお願いいたします。
暫時休憩をいたします。

午後 2 時 03 分休憩

午後 2 時 09 分再開

○議長（荒川 政義君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議会広報編集特別委員会の正・副委員長が報告されております。

委員長、岡崎裕一議員、副委員長、栄本忠嗣議員が互選されました。よろしくをお願いいたします。（拍手）

日程第 20. 行政・病院事業改革特別委員会の設置について

○議長（荒川 政義君） 日程第 20、行政・病院事業改革特別委員会の設置についてを議題とします。

お諮りします。本案については、お手元に配付のとおり、委員会条例第 5 条の規定により、7 名の委員で構成する行政・病院事業改革特別委員会を設置し、人口減少と少子高齢化が進む中、行政改革を実効性のあるものにするためには、行財政運営の効率化とスリムで柔軟な組織づくり、旧町から引き継いだ財産の整理および組織・機構の見直しを図る必要がある。また、第 2 期再編計画を策定する病院事業の運営状況を検証するとともに、町民の安心・安全を確保するための今後の医療体制の調査・研究について、これに付託のうえ、期間は令和 6 年 1 2 月 3 日から令和 8 年 1 2 月 2 日までとし、閉会中の継続審査とすることにしたいと思っております。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） 異議なしと認めます。よって、本案については、7 名の委員で構成する行政・病院事業改革特別委員会を設置し、人口減少と少子高齢化が進む中、行政改革を実効性のあるものにするためには、行財政運営の効率化とスリムで柔軟な組織づくり、旧町から引き継いだ財産の整理および組織・機構の見直しを図る必要がある。また、第 2 期再編計画を策定する病院事業の運営状況を検証するとともに、町民の安心・安全を確保するための今後の医療体制の調査・研究について、これに付託のうえ、期間は令和 6 年 1 2 月 3 日から令和 8 年 1 2 月 2 日までとし、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

お諮りします。ただいま設置されました行政・病院事業改革特別委員会の委員の選任については、委員会条例第 7 条第 4 項の規定により、栄本忠嗣議員、白鳥法子議員、田中豊文議員、新田健介議員、吉村忍議員、小田貞利議員、荒川政義議員、以上の 7 名を指名したいと思います。御

異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（荒川 政義君） 異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました7名の議員を、行政・病院事業改革特別委員会委員に選任することに決定しました。

それでは、直ちに行政・病院事業改革特別委員会の正・副委員長の内選をお願いします。

暫時休憩をいたします。

午後2時12分休憩

.....
午後2時19分再開

○議長（荒川 政義君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

行政・病院事業改革特別委員会の正・副委員長が報告されております。

委員長、小田貞利議員、副委員長、新田健介議員が内選されました。よろしく願いをいたします。（拍手）

.....
○議長（荒川 政義君） 以上で、本日の日程は全部議了いたしました。

本日は、これにて散会をいたします。

次の会議は、12月18日水曜日、午前9時30分から開きます。

○事務局長（池永祐美子君） 御起立願います。一同、礼。

午後2時20分散会
.....